イ博士)、ノールウエイ(ランゲ博士)、メキシコ(スアレス)

を修正案に関し詳細説明 たのみで日本の回訓の部 たのみで日本の回訓の部

現内閣挂冠を豫曲

市吏員昇給大連市後天他では十三日附書記補佐々木後天他

うらる丸 うらる丸は十

國府毒

政友會の

對議會能

態度 自重

の用付 各省事務次官出席

後」ド事務總長起草の決議案及び宣言案が

帝國代表は棄權を

する

(刊日)

治代喜本橋 人種灣 遊武 村本 人剛即 地番一州町蘭公東市連大 社報日洲南社會式株所行簽

案を檢討

「項發動せば重大決意

洲国 日本

佛のマツシングリ氏は事態斯くな誤解した模様で、英のサイモン氏 一段意で作成された起く装ふたと 總長私案は 動せしむる要あるや

事務局案に非ず 委員會コムミユニケ

見會は支那の抗議に鑑み、ドラモ としそのコムミユニケとして野表

總長私案の

明なるも支那は斯カる原明

てゐるので、

佛代表硬化

從來と變つて純理論

間し非公式に単務局案の説明をう

られるいもの10 株式 - 1000を2014である。その 結末は來週の月、火曜、遅くも水曜(甘五日)には見歐し、二十二日更に出面すから日本家が同意されても、その 結末は來週の月、火曜、遅くも水曜(甘五日)には見歐し、二十二日更に出面すから日本家が同意されても、その 結末は來週の月、火曜、遅くも水曜(廿五日)には見歐し、二十二日更に出面すから日本家が同意されなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨を議長かが和協の努力を鍛けた結果、日本政府からこれなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨を議長かが和協の努力を鍛けた結果、日本政府からこれなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨を議長かが和協の努力を鍛けた結果、日本政府からこれなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨を議長を懇談でユネーザ十六日愛】本日の倉職で日本の感答は十八日銀費しても事務局案に黙する修正案とせず、十九人舎の原案に黙し議長と總長し、

廿五日迄に運命決す

止の上職監護會に提出され、に帝國政府は第十五旅巡用に留保し既定態度を助持表決の場合は整權して階極底に段認し、慘恥するが、有修正は第十五條第三項の和徽皖券力を破壞するものでないから結原職監側は歩み寄るべく、斯くて右決議家と愛」ドラモンド總長起草の總會決議案に對し帝國政府は既定方針で再修正の要求を出すことに決定し、本日隊灣に諮つた後愛」

ラモンド継続世等の総合建康和に難し新教祭師よび記され、ほち、ことなってゐるとは既定の重大決意を以て之に對し適宜善處することになってゐる、又修正要求が容れられざる場合には第十五條第四項に移行することが 豫 想されてゐる・一般に理解が第十五條の適用に難して從來解保を附し來った態度を堅持し、右兩案表決の場合には程され、聯盟總會に上程さ

られるかも知れぬと駒徐され、松郎代表等は或はその暗鯵峨するかも知れぬをされてゐる瞰し、二十二日更に出値すから日本家が同意されても、その結末は來週の月、火曜、

ふの十

國會議

議長、總長から修正案を説明

次回は十八日に開く

り、イーマンス氏も同私家な支持な民と連続なとり試紙に安協私家なし、民と連続なとり試紙に安協私家なし、民と連続などり試紙に安協私家なし、 本日の十九國委員

が多い、しかしなかには決して順かが多い、しかしなかには決して順

觀測一樣

た附護、何れも原案に同意を得た

算を編成し善處され度し

られてゐる

では十六日午後二時か

大連市參事會

たへ持ちかへたりして、指先の東 たへ持ちかへたりして、指先の東 をのな防いであた。重い首葉と、こ 完全に物が云へないやうな感じに味つてしまつて、動きはしたが

ある重さであつたが、それた、肩一西蔵も覆立してゐて、

アラモンド 郷製が波識索を日本に ドラモンド 郷製が波識索を日本に 聯盟會議中 目重せよ

(天津十七日餐) 中央は服撃以上で を工たの第令を發した 職型音楽開かれる際ごて特に自 車も挑戦的態度を慣むべも、若来 も日軍が攻勢に出づる場合は現 るここのれ

の参加なければ職盟は行

れ注目を惹い

大撃生三十名と共に前線を指導し いて行けるから、毛皮の毛にも名が一月十二日球撃し先撃の陸軍 無くなつたのと同じとでに参加せる第十九格軍の将核二十 わかるだけで、腱から下なほ衆皇島方廊には昨年の上海殿 いて行けるから、足の無 足の先は、とつくに、感覚がな | 支配しなくてくなってしまって、低れずに、歩 支配しなくていて行けるから、足の無事などが う。例には、か申に、 き長からなったのと同じとであった。 の主人を自分 ち、毛皮の毛にも、白く霜

てはならない

陳三日中に上海を出

兄 東ったし、呼吸へ震ると、呼吸は であったし、呼吸へ震ると、呼吸は であった。皮膚へ震ると、皮膚は のなった。 空氣でなかつた。それは、こと

直木三十五作

是包玉山部下四百名は昨年九月以【新京電話】內蒙古自治愈家四國

內蒙自治軍 滿洲軍に編入

原、昌圖各縣の警備に當



(計計)五十錢(輔京王

満蒙の戦慄

南京重要全

能介在は襲撃段に、撃段は何柱

日本の決意が分られ民衆も問題がといい。

上海特派員 日

張學良の無力に

九峽委鼠會は昨年は「是は委員會及び変那な無視し日本」送達した新方式なるものは自分の「本殿がドラモンド私家な恰も職監ーデン各代表は事務」とな要求したに描らす、ド事務標。のて、事務機長も窓に東京政府に「無明し場がついたが、委員會は出すイルランド、ノー」つき殿閣事職と挑戦を継續せんこうが、事業なりやと強硬に迫つた」に日本代表に動言したに過ぎねと事務得求を轉り大波「委員會に經過を報告し、決議案に「家なるものな怪成したと際へられ」し、看は日本代表の振騰で会は単于大日登』本日の十一會の際、議長と事務機長に對し、「の意向のみな意意し、所護事務局」作成したものに非ざることを言明下去日登』本日の十一會の際、議長と事務機長に對し、「の意向のみな意意し、所護事務局」作成したものに非ざることを言明

第十五條第四項を發動か

三土鐵相再度

臨楡縣の居住民

▲竹内元市氏(東奥洋行重役)
▲井高岩一郎氏(瀬洲國官吏)同上

ち、膨木と同じ速力で、歩いてる人に云はせると、た。膨とにおつて、うつむさながってあるだらう。

滿洲國合流希望

かが山海關軍は傍觀

新として | 座館し注目を添いてゐる、之に對 | 機断内外に | としめ之が圖湯を期せよとの論が | をして | 座館し注目を添いてゐる、之に對 | 機・

お次きに何んだ、ロシャの爆行

せず傍観の態度を持してゐる

臨時次官會

| 本式 | の見込ある各省所館の法律家の主 | 本式 | を提出方に就き打合せた遂げ何事を提出方に就き打合せた遂げ何事 | を提出方に就き打合せた遂げ何事 | しても意見を開陳協議すると

京より同上

一前八時着列車にて奉天より河本大作氏(滿鰯理事)十六

ころあった

前途多難

ては叛張撃良熱の強慢は如何ともとて張學良か攻撃し、一方におい

商震軍砲兵は灤州へ 第一線に 土力を配置 事務局案は日本案だと?、日本 事務局案は日本案だと?、日本 排出商賣

きすく

な驚かす気が可笑しい。 ない、 ない、 かってくれる) と、 思ふと、 遊木は、 自分だけ で、 背壁を背負つてないのが、 道木が、振向いて、歩みなゆる いつも道木の話組手になってくれ 「滿洲は、いつ、支那の物になつ と、歌かかけた。

瑞兆に沙河口署得意

も協同する用意ありと述 なと戦ふためには如何な 像するな非難し示率は帝

赤化の蟹手を伸ばさんとする記書

れる一重像を置つた王は左肩部を挫折、劉は胸部にそ

鄭桂林軍擊破

もあり、今や赤化の浪は支那金土もあり、今や赤谷の渡は支那金土

李汉

先驅列車で警戒

列車を武装

五分の欄門を終する。

西方約七里)及び其の北方山中なる方が七里)及び其の北方山中なる一時寒崩み(窄山線前衛の

滿鐵警備會議で對策

たいてみるその覚証には概念石が たので各國殊に英國軍民の注意な であるその覚証には概念石が

東福し発きなもつて素動を誘題されたが記り北浦に在る爆動機働に動きなもつて素動を誘題されたがため震響を表記しまり北浦に在る爆動機働に動きな東京に且つ日本軍の機職の美人を使用し日本では既に妙齢の美人を使用し日本では既に妙齢の美人を使用し日本

自動車雪です

橋から川底

墜落

長以下四名の名かもつて

事の大連富士から

續々遊艇しついあ として兩軍の地盤等

目の一輪討ちは第九旅と李海青で 和軽し電像を負はせた、此極のピストルを奪ひとるより早く 自ら城内の中華旅館に李海青を 職をなつてかり假命それに大連市 調査した處右は蝦花二重の二十五 では戦物につき 嚴重に警告

市議の新マーク圖案

煽動機關を動員し

女スパイ暗躍

北満赤化の魔手動く

高に武器産業を する を一般を弾に覚しの除去には 相常の 努力な 必要と

入質せる職品全部

+ 月

御紋章類似で

年 1 和

しついあるい

熱河軍の崔興武と張合つて

開魯市中で同志討ち

へ狙撃され重傷

武裝移民團の

佐藤氏表彰

丸(二五六五順)には強

敵狀を偵察中に殊勳

の通り身は潔白と

左第一小隊に屬し敵狀を偵察中撃を受けたる際第一線右中隊の武裝移民團受持任地が匪軍の攻武裝移民國受持任地が匪軍の攻

から李海青

の處置であるに議員中には警察として使用を禁止されてゐる、而も今回市會議員が使用しようさいふマークは二十五瓣にして二重である、これが製作を差し止める事は警察さして當然

おについて大連署末光高等電低は 信事項に努力してゐるが他方同地 所述の整備に驚り信成から感謝の 所述の整備に驚り信成から感謝の の延く表彰されたその表彰就は武 を移民職の生活を頻覧に物語る方 なる資料を見られてるる を表彰されたその表彰就は武 である資料を見られてる。 を表彰されたその表彰就は武 である資料を見られてる。 備事項に努力してゐるが他方同地 移民職は一方粉來における開發率 「新京電話」チャムスに在る武装

般に布告し其の名響

任となって管内質感 を打ちわり、三回を打ちわり、三回 電線を以て首を縊り、 しまつたの

職道經營に當つて居り

動車係の經營に就いて考慮されて動車係の經營にごとにおちつく模様である、即ち監視は滿電政は滿襲自

三角地幣の運動車運行には なるが同區間乗合自動車運行には なるが同區間乗合自動車運行した後本音解 があること なるが同區間乗合自動車運行には

雄人で出さしたおなじみのバイ

度

金五十五錢

武森洋行

紙光感更陽 京 東 町喰馬橋本日 ^{元造製} 店商井櫻

發賣元

谷

電話七〇四二

垂店

美容のお相手は

ハリーヂヤン美容室 木田,年安

にかと思ふと一直線に大 ひで連れて来て署長室に入れ、そ 会室を大きく二三回悠々と 喜び、早速自動車で立川巡査附添 目りともなく現れ、繋の大 意外の端兆に三浦署長始め一同大 門の とりとしなく現れ、繋の大 意外の端兆に三浦署長始め一同大 門の とりとして、マイくと様へられた 製

鑑で蔵さ三尺、麻臓が伸ばせば七

號八百六千九

後者は東及び脱東野常尉、指令した 生きた建國資料を

の虚置は銀道事務所に一任する旨によつで代用することとし、機宜 満洲博出品の 各使用料金

大陸に於て同意を得たその原案は十六日の市豪事會に附議されたが 市参事會の附議原

六尺以內、奧行三尺內 付會期中金二十五個四 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以下 以上七十圓一小間(間

一坪(方六

以上百六十圓

満洲國政府外交部で

人に上つてゐる、常湯におい人に上つてゐる、常湯におい

れてゐるので

多大の日子な要するであらうか地行の曉により

あり、父その株式も多敗に分には漢文あり職文あり蒙古文

職資料を永久に保存するため 満洲國政府ではこの生きた建

旅大戦跡回覧

金百圓は一二七圓七〇錢

西の風(晴) 各地溫度 十七日午 水源 八 新京同 一六 本天 第一 八 新京同 一六 予 天氣



五名は同校標の明治大橋の明治大



野口ダマエ野口ダマエ

大本營御用

酒 0

秦東洋行

光榮

を

蒙る



バツクアイ大型立體孵卵器孵化自色レグホーン初生雛及中雛優秀多産純血タンクレッド系

場

莊

倉紗 司

御會葬御禮

個名乘船 歸滿す 北平から學生 3

総に増加しな月に入つても既に三 来平津方面より来消する學生が急 来平津方面より来消する學生が急



の転馬天狗を終始前面

前年はい、カッティングで押し

頁任薬里

でこのまいお上の手に使して、おが、そればかりぢゃねえ、お

「いつそ此方が堪恐ならないの

の緒を締めて云ひ降かしたのだが

本美の頁十七書養療理病 呈進代無 生更の康健

萬歲音曲大會

通信用・フラオ用・燈火用

明夜から常盤座

して安楽節元祖出雲ろく

いふのかれ?

中マイソールサンタル

掛十五三定 奏 円円円價

或

お子は、髭期の心がまへが出来 てるた。おなじ夜のうちに、二度 までも、この世の何ものよりも慣 さんな事でもきつとおれが引受けて、そして無事安徽に生きのび、 とれがりなと承知すりやあった。お前の事は

男だ。これだけいつたら、わかつが、これでもあたしはよしある人の娘なのさ。悪い事はしたけれどのなの道はよくわきまへてゐるの が、これでもあたしはよしある人のが、これでもあたしばよいだらう。忠義の 脚げることは勿論出来ない。土地 が、なぜともなく心を打つた。が が、なぜともなく心を打つた。が

御早

く御買上げ下さい

迫る

勝然 廉價! 断然 廉價!

益

家具室内裝飾

醫學博士

凄い盛況

ル手提蓄音器

斷行

株式大連商業銀行 大連市西通 信賴服用日に加はる藥効の優秀既に承認 電話良三三四七番五〇〇二番 岩里天然堂大藥房 接続大連二〇一一番 却指定品

器だごんなに見積つても三、

家庭の園欒は

ラ

天。

オから

こ四カバ

四十圓の値打は十分にある

◎絕對的廉價

何から何まで

申分の

ない蓄音

品質升目確實

配差迅速

癰、頭痛、齒痛、火息横痃、睾丸炎、丹毒、足横痃、睾丸炎、丹毒、足

筋肉炎、

不明の炎症又は熱等

齒痛、火傷、

②堅牢なる新精鋭器

⑥明朗の快調

◎高雅にして輕快なる體裁

白米變動相場は

連鎖街の問屋大島屋

電111100番

陸海軍·满鉄·関東廳 鉄道省 源信省

頭痛にノーシン

御客樣

般銀行業務確實に御取扱申候

員

リーガル、ジュニアーレコードがピクターコロムビア、ポリドール マタ賣切の内に御早く最も安い田中 大量新入荷致しました ーコロムビア、ポリド 部で何んでも揃ひます の勢揃

審音器店 スーパーピーター 脳産の権威 米國製優秀ラヂオ 臓取用さして最高の適品であれるペントード球ごミユー球 t により迅速にサーゲイス致 を被に常催し熟練せる技術 の高級セットは其部分品 が出版をなくさ、まずか、 関非維をよくさ、まずか、 では、からの修繕に困ると云 に取扱のセットは其部分品 7 クリン y 満電發賣ラデオ御申込御取次致ます - サイス専屬店

的廉 般一は積量の瓦○五劑本 す當相に程瓦百の劑布**室**

娯樂と知織の家

本位の店

日元 東亞 本 賣 理 新替東京セニセ大 0番 新替東京セニセ大 0番 新替東京セニセ大 0番 新替東京セニセ大 0番 新替東京セニセ大 0番 ■大大藥 代市連株 表浪 式 一町支會 ^{九四}店社

淋巴腺炎 見よ 管 支 炎 定 電本 膜炎 野り胸部・面に塗布し外足下に貼用せしに見る上 野間位にして全く解熱し治癒に向わしめたり 素高く肺炎の恐れありたるにホリミンを横向と 大人 異る顯著の効力を有する薬剤を 赤羽横。 赤羽横。 寒東 同診療所殿寄 赤羽横。 寒町 同わしめたり 赤羽横。 寒町 同わしめたり 赤羽横。 寒所殿寄 本が野かたり 本が野かたり 赤羽横。 水の殿寄 本が野かたり 大として推奨す 本が殿寄 本が殿寄 本が殿寄 本が殿寄 本がい。 、 本がい。 、 本がい。 、 本がい。 本が 炎 型 次 なきな使利とする吸收力を有し特に溶して使用する事態を開力なる吸收力を有し特に溶して使用する事態を開発を関係を表示を認め以後見ゆる炎素原及で支援をの打撲二回の更新三日にして全治特效素として強力を対域で支援をの打撲二回の更新三日にして全治特效素として強力を対域で支援をの打撲二回の貼用にて痛みまれりとの表面に使用を中止せるに激しき運動の結構を派したる数異をして指数を向いたる数異者にも使用を奨めつまる。 型 後つて本側は他の風布切断手術の要なく治癒を申出たり、との表面を認めたる数異者にも使用を奨める炎ので支援ので支援のの貼用にて痛みまれりとの表面を感じずと治癒を申出たり、というなどでと治癒を申出たり、というなどのである。

「一」病院長殿寄りたりは全く異る効力を有めます。 此の驚くべ き効果を!!

會

傷、凍傷、原因濕疹、癤、疔、 腺炎、乳房炎、 肩凝、腰痛、

劑療治透滲り

和泉麻雀俱樂部を開業致しました、どうぞ御 、と非一度御越しを願ひます 大連山縣通四十二番地 、と非一度御越しを願ひます

常・デザイング新味する

誇

腹膜膜炎、 り消失する奇績的特効を有すを誇りとする腹膜炎腎臓炎の浮腫腹水等數回の貼布に依本劑は鎮痛解熱の作用を營む外濕性肋膜炎 耳下腺炎、扁桃 膓炎、氣管支加答兒、 腎臟炎、浮腫、 肺炎、肋膜炎(濕性乾性)、 リユウマチス、 淋巴腺炎、盲 關節炎、

浮腫、滲出液の消失作用

本オホリミンは一般濕布劑又は巴布劑と異的なり、一旦の貼布にて治癒せし等の作用を迅速に營むが故に使用と同時に鎮痛、解熱の作用顯しく共に消炎の作用顯著の作用を迅速に營むが故に使用と同時に鎮強と毒素排除。 ホリミンの特徴

源布劑の追從を許さぬ

堀冱憲治 革命的治藥劑として 外各諸大家墨つ 各専門家に賞用さる 氏 割見 林田 木 憲

大連伊勢町

御 御 御 推 推 美 类

量源開發を待

熱河省經濟事情

馬鹿にならぬ蒙古人の購買カー

新興演派」版の観蝶としてや 新興演派」版の観蝶としてや する熱河省は峰橋軍艦の山

重されてゐる、就て現が

農産物の種類な紙別

素、蕎麦等で、之に次ぐのは

影響は 軽微であらうとみられてであったとけに一般財界に及ぼす

廿八日の臨時總會に附議

昨年下半期末 決算の内容

を顧慮して決定

趨勢

今津頭取心境を語る

年度滿鐵混保大豆

はまに對してもさして御迷惑を かけるほごでもない状態にある ので、思い切つて解散すること さしたのです、預金は勿論全額 構展が可能で清算後も少くさも 一株に付四十個は株主に御渡し 出來るさ思ひます は急に回収さいふ

千株以上株主 今津氏一 萬三千

損傷粒多く粒形も

公主嶺査定會議で決

は十六日夜いづれも鬱速した、これによれば今年度の標準見本は南 北瀬洲を適じて各出週り騒より千四百三十二個な影楽し公志醸地・ というになった。

今津キサ氏百株

ないなった。

八年度標準見本

| 上海十七日愛|| 十六日上海海域は | 左の延くで世界地でが近に加へて上海の海外を影響は | ボイコットの影響を受した (単位・単年地でが近に加へて上海線 | 出 位千テール) | 100三〇六 | 100三〇八 | 100三〇八

期待の低資 管職の主なれば大蔵を経過できた。 またも望み薄 政府の財源涸渇が原因 か

はは明確な理由があるであらうが、何にしても大連の眩死には ーセンセーションを興へた ーセンセーションを興へた しても大連の眩死には ・ 会議氏のはなしによると銀行 黄 の經營にかゝ

定期喰合高(村六日) 前日野比較 三和三〇八三千枚 二五千枚 三和三〇九三千枚 二五千枚 三和三〇九三千枚 二五千枚 三和生産高(十七日) 日米浮動

當市大巾保合

九九九八八四三二七七限 野崎 (東東金) (東京 (東京) (東京 健康限 寄豆 公 600 位 九 九 九 元 元 元 元 元 元 元 元 大公司

日 (日曜水)

るる、此等農産物は何れも支那人 によって就假されたもので、蒙古 他って此等融産品は支那移住民の である、此等農産物は何れも支那人 其の他の 機し、各地至る所

ことでこの結果規格や、低下する

起きようとしてゐる際適切だと是 では、其情能感見は見なかつたが何 たが其情能感見は見なかつたが何

六時金水にて例會を開き土方總 フレーションの繁密が減く 七日愛」金融業者にて組 金利問題等協議

米高 七車 第100 三100 當市も聢り

況

福牌軍手頭

市

山信浪

本市場

【上海十七日後】標金は物品筋の 質能あるもマニラより要注文あつ で確り、側は大連筋の見送りさ外 て確り、側は大連筋の見送りさ外 に仕手なきため至極関散 上海為替情報 八〇一兩七七九七兩三 本日封 切 昭和新撰組織 演主明

海標金

尾形」即 電話セセセ六番 大連若狭町三(西通人)



発験全計パ 翼き若

十五日49大連劇場 御優待等割引券 御優待等割引券 脚勝物券三割引券

五味國男

流國

下階か オン

口

林,四十七回十段 1 壶蓝引。 三日公開

テクニカラー テヤツブリンの 階下··六十錢 常 般四 後の音楽

(頭取安田善四郎氏名義)の山本石に就いて大株主の一人正院銀行 山本正隆支配人談

計畫具體化

と物取引な復活させること 撫順炭減運 鐵道爆破影響で 十十七五三一現

柄 前場寄 前場引

東京期米

京心豆粕、豆油は大豆粕、豆油は

士士十九時時時時

常は前期より十分地震に対していたでは、大記諸談案な を附議するが配 に時株主總會な の配

廿八日開 催總會

させたものらしく、正金の水津 た手傳つて居るが を手傳つて居るが を手像つて居るが を手像つて居るが を手像つて居るが とであり、否内地と縦し帯像が出来 るさは、先つ滴洲では未曾有の ことであり、否内地と縦し斯機 な銀行の解散ぶりは聞いたこと な銀行の解散ぶりは聞いたこと

◆・・道に今津氏なるかなの感心深 がない 市

況(十七日)

産

幸じて財源を捻出し得たもので滿 選用委員會に提案されること、な 選用委員會に提案されること、な 会朝の定期は大豆は買氣旺盛で強 調を辿り豆粕、豆油も相伴つて壓 調を辿り豆粕、豆油も相伴つて壓 大豆强調

は、 今朝来日鶯替は同事 一大分の一高、組育八分の一高さ続りだった▲一方日来第二一十六分の一高、組育八分の一高、組育八分の一高、組育八分の一方日来第二回八本の相場なので日来第二回八本の相場なので日来第二回八本の相場なので日来第二回八本の相場なので日来第二回八本の相場なので日来第二回八本の相場なので日来第二回八本の相場なので日来第二回八本の相場なので日来第二回八本の相場なので日来第二回と記述を割って九十五銭まで緩み九十銭と表記を割って九十九個。

上海貿易額

記錄的激減

麻袋小 綿糸弱保合 聢り 昭和新撰組 叉夜色金 明傳木爺・稔 田高 狀廻狗天 篇前演主郎壽寬嵐

十七日より

五四二 来高什点

三萬 央

市川右太衞門の 與太者と縁談 三井秀夫·若水照子·《演野秋雄·主

笑ひの速射砲

E 汚

封切。

銀解散決定

大連商品

財界へ

窮極は今津頭取の心境變化 の影響輕微

市場電

林 11100 1

大阪期米 前場衙前場引 順 1301 1300 新株

展展 完立 大阪棉花

附近 100×0 100×0 先盘 先心 客付 高値 安値 大引 客付 高値 安値 大引

期近 100-20 100-20 先置 北北高期近三百二十八萬圓 出来高期近三百二十八萬圓 出来高期近三百二十八萬圓 出来高期近三百二十八萬圓 出来高期近三百二十八萬圓 出来高期近三百二十八萬圓 出来高期近三百二十八萬 □ 12-20 1-12-2

株(昻騰)

座

じやじや馬馴らし めよ感激 灯

万 『東京十七日登』スチムソン長官 を が出先大使に滿洲國の不秘認主義 の報道に對し外務監局は

「不承認」OK

外務取合はず

ユネーヴ十七日發』和協解決に

日本對聯盟の衝突懸念

英佛の意見對立せる事情より見ても

米國の日支問題態度

在歐洲使臣に訓電を發す

聯盟會議の終局は?

の勸誘結局承認されやう

、雲南、貴州、四 中七省軍事を統轄 に七省軍事を統轄

の通りの通りに窓木と様の跳左の通りの通りに窓木とはいる。

讀師被仰付

公 二條 厚基

大原 重明

露大使送別會

京東・阪大 商 平 丹 りあに店業各

とて之が静止に営 者と戦端が開かれ

高端側の治安維持に關して話し が著名からも種々質問があつ の集結を行びつゝあるが狀勢に 急變な手限り現兵力で充分さ思 をあげて居るが支那の抗日は季 節的のもの故氣にしない、長江 筋の共脈の熱梁が更に擴大すれ は北支にも影響すべく充分注意 同控被仰付

公訪問

荒木陸樹は名古一

氏は内田外相に對き日本は何等係等問題のない、政府とならば不侵略條約を締結し戦争を防止する要がある冒力戦も、向確定の日、露、滿三國委員設置の件等に關し解決を考慮する冒回答とお、カッコーリー・コープ・ロ本はリトヴィノフ氏の交換を開出る

が を を を を を 終り、 十九 で し を 終り、 十九

小に縮小したた

會明け劈頭における

めこ、滿洲事件養生以來內外時 局重大化のため薩海軍線算の日 むを得ざる補充さ重要經費の增 大による像算編成の經 緯を速 ない、政府は極力とが取締監督 に出來るだけの力を致す決意を に出來るだけの力を致す決意を に出來るだけの力を致す決意を では、政府は極力とが取締監督 に出來るだけの力を致す決意を

単する回動につき譲属を求め十一 時間会した 時間会した

デンチンリン丸

が かんかん できがあり

大人のかせいねつには

秦梁本部員兼陸大兵學教

東京十七日後』本日の閣議は午 手法の解案改正の作な正式決定し

定例閣議々事

を述べ相談長次に見るものである 窓に騙して之が提出に至った理由 では、選挙法唆に等の諸重要法

百相施政演說骨子 十九日臨時閣議で正式決定

りべき趣旨

像算はすまくやつてもらへ

從つて有決業案は第十五條第三項に立脚せなものなる故決したが右で覚明さるべき趣旨左の妲し.

帝國政府の囘訓內容 の請願がもつごも好ましき所以なる事か强調す

満鐵増資の

半額は政府引受

成案は八田副總裁東上後

國の参加を招請し得」この部分より「非聯盟國」の字句 十七日内田外根より朦朧に附し午後五時標に野する電気の修正要素を明かせる回離は『東京十七日餐』ドラモンド氏の事務局案

のなり」で認めたるな「有益な基礎を含む」もので認

和中島より二百支里の監川 大日餐』一時鳴りを動め 大日餐』一時鳴りを動め 大日餐』一時鳴りを動め し要素」で記述されて居るが之な「若干要素」で修正する事 丁五條四項發動には何等危惧なきを確言す 上擡頭 部内は最近美閣なる緊張がも見れたので 一般でする鎌定を立て、るるが軍政 が確する鎌定を立て、るるが軍政 は、注計處の誤解をも得たので

はこの形勢のためである にこの形勢のためである にこの形勢のためである にこの形勢のためである 開魯方面の 敵匪兵力

張總長自ら精鋭を率る

の學良軍を討滅

の日支問題委員會に非職盟監接諸

米の異常な關心

合た像想も既にこれが豫算なも続れるの、好くである。というなく戦端が開かれた場の他四門、機関銃四

新入營兵 けさ、うらる丸で到着 十九日朝九時廿五分旅順へ

上淡定せられるに至るものと戦 と、なり、これが増食素を診會 合祀となり、これが増食素を診會 合祀となり、これが増食素を診會 合祀となり。最高低に上ることになに提出する機様であるが種々の事でた。

西南七省大同盟

相互間の内争を排撃

荒木陸相談

歌御會始め に叙位

會始め諸役左の如く發表された 会婚の諸役左の如く發表された 会長の如く被表された。 諸役決定發表 野し左の如く高等官に任宜したる 手に汚れた村上、田子原拠高手に 手に汚れた村上、田子原拠高手に 東京特電十七日襲 ホロンバイ 計・七日登表された。 陸地測量手 後七位動七等 村上 住陸地測量手 を地測量手 を地測量手

・ はやりかぜ、肺炎 ・ がの場合 ・ 本の場合 ・ 一 本の。 ・ かぜねつ、はしか 薬價 二十銭より一圓迄

専ル門見 先が一 熱薬オインを 番に御用意あれ (守護神)



はたな単した増しな。 連想あることによつて我國の機管 でも単想なる単想な場仰するものである。 でもないである。

でき進なきことを述べてゐる。かになるより外に、此歌風を強いなど年を形作ることに聴いないない。 此歌風を強い

満洲體育に

理想を與へよ

4絶對的権威を興ふる理由はな

滿洲紡績

5 て脱素を作成し、さらに二部が至 議においてこれを承認することに 中年末来第一部は寄え食味であって、結局現在提出され の搬込みをなすことに内定し四分で なる 繋を振動として楽飾ブラン の一の機式を脱有する満郷に内意で なる繋を基礎として楽飾ブラン の一の機式を脱有する満郷に内意で なる繋をを破して来たので十七日の重役会 これを実施を基礎として楽飾ブラン の一の機式を脱有する満郷に内意いを作り、これを実施を表して楽飾ブラン の一の機式を脱有する満郷に内意になるを表した。

經調會第一部の

見本大豆

查定會成績

ては富楽者として充分といては富楽者として充分といる思ふ、金に充分を訪問し、特産質行の思いるが、これに関ける観測する説が、これに関ける観点が、これに関ける説が、これに関ける説が、これに関する説が、これに関する説が、これに関する説が、これに関する。

豫備プ

ラン

一月中に完成の豫定

度産児本大豆の音定會に出離した公共観演観察事試験場において十二次出報演観察事試験場において十二次

満鐵の直營で

自動車營業計畫

重役會議に附議さる

全流 高田 南縣 高田 南縣 金浦 官民総統 一

第三項には、リッ

が、既に去年三月十一日の總會

年三月十一日の決議な聯盟の

わが陸軍、満洲國

調查團派遣

今年三四月頃を期~

說

點及び不用意點である。 かは懸意を含まざる意見の相違 論及せんご欲する。即ちこの部 論及で不用意點である。 依つて……

る。第三國介入の餘地はない。 接交渉の原則が明確にされてゐ なつてゐる。即ちこれで日支直 に交渉を行はしむ」こある。 國委員會に提出された原案に越されてゐる。昨年十二月十 洲國否認の文句を撤退せらめた にあるかを知る事が出來る。こ にあるかを知る事が出來る。こ にあるかを知る事が出來る。こ であるかを知る事が出來る。こ

以上によりて、事務局案に對

職を必要さする。 いので、これに就きては別 で、これに就きては別 にないので、これに就きては別

端洲重要物産組合書記長院并長次 変情につき左の如く語る 本年の見本大豆奎定舎の結果は 大體前年は變りなく、至極平穏 種に終了した、即ち南北漁洲出 種に終了した、即ち南北漁洲出 でつき査定の結果、その割合は 大の通りであつた ◆電話監局に番號郷の加入者名登。 様方波は如何なる標準によつて ほられるかをお説ねしたい、我 居られるかをお説ねしたい、我 京斯様式食前の番號を探して見るからです。

大豆强調

來た市警改組後直に此の慣例な

三千圓大賣出

醫師規則 二月一日實施

る、がその内容は ※洲殿屋旅機圏の完備に重大なる関係を有する家の完備に重大なる関係を有する家の完備と変更の資格認定、 て改正公布、二月一日より質値に 中なりし響師及齒科響師規則に去

語がな博してある、今その要領に施するものと対。 である、今その要領にからの他等に がでありてある。今その要領にからな代表に をである。今その要領とが、 である。今その要領とが、 である。今その要領とが、 である。今その要領とが、 である。今その要領とが、 である。今その要領とが、 である。今その要領とが、 である。今その要領とが、 である。今その要領とが、 である。今その要領とが、 である。

現金前

を納めて午後四時半閉會に就きそれなく獲印の立規に就きそれなく獲印の立規

所並に大連輸入組合共同治備

大道元光宗主任を命ず、大道元光

出来高 八十単出来高 八十単出来高 二十里 出来高 大豆類 出来高 英田来不申 と 米 出來不申 と 米 出來不申

稅輕減要望

高田會頭の歸來談

て閑散 當市保合

を出し、公安特徴をできる。 を出し、公安特徴をできる。 を出し、公安特徴をできる。 を出し、公安特徴をできる。 を出し、公安特徴をできる。 を出し、公安特徴をできる。 を主道政治のがある。 を主道政治の始めは を主道政治のがあまる。 を表表して不正 を主道政治のがあまる。 を表表して不正 を表表して不正 を表表して不正 を表表して不正 を表表して不正 を表表して不正 を表表して不正 を表表して不正

綿糸保合

今定期後場(単位後) 寄付高値安値大引 新行高値安値大引 期近 売至10010 未完至10010 出來高期近百八十六萬圓 ◆現物後場(単位後) 銀灣金銀灣洋金劉洋 一時中 — 122至 —— 124至 ——

東にも又「南」を「ナン」と で「ナ」を探してもありませ んで「ナ」を探してもありませ な、それでは南流州の道線式館 はが「清瀬」といふ暗機の下に 「マ」を見てもつはりありませ な、が「ガス館似」の略機です。 が「ガス館似」の略機です。

内以行十五 すらさは係中

りませれ、必要な香味はが論書のとは何といふ不便でせう、勢 な不便でせう、繋

話簿の混亂

新 銘 解 解 東 第 東 第 東 第 1082 110

內地强保合 當市强含み

况工大型

合してゐる。

人の病は婦人の手で

九八二〇

は解であって、高前に無業事校教室内に於け 育壯年の爲に 海に本会の終り 一数萬の正會 下實業界の

東の事職は必要不可 ・最早や普通の實 知識では不充分

東京高等商業學會 電話青山一 三 四

物價向上・株式奔騰・產業界 店職·企業利潤增率·勞銀增 九三三年こそ正に實業界の の尨大なる豫領等々 ふるに公債の増發・二十三 ・大衆の購買力増進 理期でなければならな ション・ 下着の種類ごその着方

私共の生活は窓」吹良が唱へられ初めて以来、

さい、蘇用品は深庭にあるもので「驚嘘な利用された方が便利でせうのものは持たせないことにして下」すべて饗店に揃ってありますから定めたものを使用させて必要以外。したらそれで差支へありませんが

優着心地のよ









グロタカ手切鉄二要

冬のお化粧料は 全世界に誇る 全世界に誇る

高新洋行

まの上には補が除り量張らね為めたとべチコートと継ひ合せて着。 大きにシニミーズ、 いまの上には補が除り量張らね為めた

よってスピード

は完全にいへる様に一に人の手を借りなけ

コヒニひき、カサギー

ウナギ二十びきのたいれうで、

シルふみはずして……

そこにおちこんだ

悪臭を放つ

書籍

十一歳の男子

家庭顧問

でせうか

査試驗

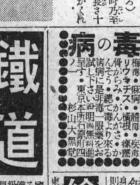
までうが、宋だ入學までには二ケ 見の服裝より複雑なためにもより 脱着 ができるやうに練習

白八十月 一年人



落す影の静かさ

の寸法は身丈へ なと字壁が無数



はげ脱毛薄毛生きは懸人感

子

藏 甚子金 士博學医 一六六七電+八七連西連大 常 日 中 過車電場広西橋切料 種

二東京級備る國有 東京の東マー 一東京の東マー 三東北 一東北 一

東京麻布飯倉四丁目大日本繪畵會開墾名城桥縣

則星東京遊谷書葉廿日本鱘灸學院身成功開業者千五百餘人の經驗地自成功開業者千五百餘人の經驗地自本唯一の光荣ある講義第一日本唯一の光荣ある講義第一日本唯一の光荣ある講義第一日本唯一の光荣ある講義第一日本唯一の光荣ある講義第一日本唯一の光荣ある講義第一日本唯一の光荣ある講義第一日本唯一の光荣の

地番二一町狭若市連大 (前院医男岩) **院醫科密森藤**

借力の五三話電



後8599時

大割引販賣總目錄進呈 大割引販賣總目錄進呈 **焙五錢 內容見本無代達**

今や軍國極めて多端の時に方り元師閑院宮戴 たはされ此の重大なる難局に對し金技玉葉 の御身を以て畏くも挺身奉公の範を國民に示 し給ふ、吾人國民たるもの寔に恐懼措く能は だ多處であるが吾滿日婦人團に於ては今般子 の御就任感謝の微意を奉表する意味に於て関 院參謀總長宮殿下御染筆揭額(複製)を在滿同 胞に弘く傾ち日頃家庭に於て日夕これを仰ぎ 奉ることは近時の如き非常時日本國民として きものありとし全滿洲における在住同胞のた將又國防第一線に立つ吾人として真に意義深

秋道講習鄉 · 爾爾

一、復製法 大及小の二種は帝室技藝委員たりし故小川一眞氏の苦心の結果創案せるためし故小川一眞氏の苦心の結果創案せるが非別である。 大多のは、大及小の二種は帝室技藝委員 滿洲日報社事 市東公園町

婦

申

新印刷機の出現和歐タイプライターの姉妹機

望事

■ 松浦汽船大連出帜 一川大利通館 一月廿四日 三州府龍口希麥安丸「月古景等 一月廿四日 一月廿四日 一月廿四日 一月廿四日

いに江湖忠君愛國の土は奮て御申込あらんにこれを頒布するとになった。

大 極上統本(タメ 羽二重地

電五五五四・四七一 伊勢町案内野 國際運輸株式會計画與所述。 目阿波共同汽船 大阪商船株式 大連支店

閑院參謀總長宮殿下御染筆

揭額復製(絹地) 須

唐行、高山丸 一月廿五 海行、高山丸 一月廿五 河 一月 二月 二月 二月

■日清汽船」出帆

(完備) 武昌丸 一月三十大阪商船参越大連支中大阪商船参越大連支中大阪商船

天津行

11日本郵船出帆 每偶數日午前 每偶數日午前 下 大阪商

人同二年目指して一

【事天】満洲國の治安維持な職保するため昨年は浦鰕本線より片側五百米突以内に高駅の欄付けな禁止したが本年は之ん二倍にして一千米突とし難道網路な中心に両側二千米突以内の固形内に高製帽付けな禁止することになった之がため従来購入は搬道網路で従業してあた清美地員の被害事代も一振される調である

奉天省公署の躍進し

ぬる、これを前年度に比べ

王福宴、陳佩行、沈鴻福の四名にしいが捕へられたものは王慶貞、

惡魔の囁き

字はかりでこのところまさに演洲 【華天】郷天教育廳管下の新師館高、斯くの短く何れも鮮やかな黒 集上

奉天師範新卒

鐵道沿線二千米

高粱の植付禁止

當局の匪賊豫防策

大好調を示した

奉天驛業績

昨年の素晴しい數字

費を行ってゐたが、やつと十六日 で配和七年に於ける 職業緩の調 を表す。 素天縣庶務係に於ては兼



場の挨拶を述べる處があつた

り継なし、歌重な極めた地で午後の世中庶務主任より事務情類一切の田中庶務主任より事務情類一切の田中庶務主任より事務情類一切の

當日に

瀬し獣埋葬に附した。なく神計機明しないため消機に引

安東瀋海線を繋ぐ 鐵道敷設請願 東邊道各地商工會代表の願ひに

奉天省公署でも審議 景氣萬歳とばかり摩當局もホー

の大藝でである
カの大藝でである
カの大藝でである
カの大藝でである
か、順市長事務
常年係りにおいても之が歌演変を
中に継続する機様があるので繋交響 市に継続する機様があるので繋交響 市に継続する機様があるので繋交響 市に継続する機様があるので繋交響 市に継続する機様があるので繋交響 市に継続する。 鐵道爆破の

奉天に流感

一米リレー、各箇単生一般選手五十米、

關係者一同調查

慎重に行はれた犯行

特產出廻狀況

遠く酌婦に賣飛ばされんとし

ダンス

まだ受験に来ない まだ受験に来ない

教授所

虎口を脱れた彼女

神尾明氏に對する 神尾明氏に對する にもことに初めて ス教授所が出来て るが教授解 一般由ダンス教授所と

日語語 はいので飲食の提供や 筒右は本管のダンス

神習所

中央体務所に於て開舎の鎌戸の鎌倉職は十九日何れも午後一時職箇所長舎議は十八日初事務職箇所長舎議【無職】撫

撫順スケート祭 二十二日盛大に擧行

戦山スケー

大面の同情により就職なした者も て開業するといふ で変形の同情により就職なした者も で開業するといふ で電板によりにはいい 海関を作つてゐる、多分二十日頃 温か い宿を提供 > 奉天に宿泊所設置

本溪縣の匪賊 無順中心塞、深蔵鏡、瀬に蟠居中の睡首

「銀編」先月來當地城内で募集中であつた率天城安旅戦隊の初年長であった率天城安旅戦隊の初年長で東兵官計中尉引率の下に十四日で募兵官計中尉引率の下に十四日 兵六十八名

屠殺場を擴張へ

公衆衛生を徹

新京都計に伴ふ施設

旅順放送

京に至り十五日夜鰤旅した度地方費像第内容説明のた ので公表は二月末になると のため上京のさころ十

日午前十時民政署附近を中心 代に中尾判太郎南氏が内倉線代は今回新見愛

> 多い譯は 小店 員入用小學校卒業程度計 大中 入用當方家族二人字族待 所三阿久升 管話不一來就通動敷島町還水越平市株式店 所三阿久升 管話不一來談和數島町還水越平市株式店 中期町三二愛屬看應達令 電話八六四點等台 電話八六四點 小店 員一名入用年齢十五六歳 小店 員一名入用年齢十五六歳 か要す 連續衝京極 標澤洋行 を要す 連續衝京極 標澤洋行 か要す 連續衝京極 標澤洋行 が表す、連續衝京極 標澤洋行

女給 数名入用 東町カフエーリリー 電三四一六番 東町カフエーリリー 電三四一六番 電三四一六番 マースーカイ 大会 電影 一八一九 大会 高根科警院 電話ニースーカイ 大会 高根科警院 電話ニースーカイ

本本学会社 関係の では、 一番 では、

本書 性墨炎ハリ 電四六九二番 性墨炎ハリ

道多忙會員至急募集 藏心看護婦會主 東灣 三浦·芳子

政護婦婦派遣

電話

市 大田 品類切本位置受 ・ 大田 品類切本位置受ます ・ 日陸町エペス屋電話二二五九五 ・ 日陸町エペス屋電話二二五九五

変異元 佐々木洋行 大楽播源町三二 大楽播源町三二

呼吸器障害に

貸衣 裳 日蔭町 三浦屋

大連市警旋町五八声神の ・連線領域小路電ニニー三 ・連線領域・路電ニニー三 ・ 連線領域・路電ニニー三 ・ でででである。 ・ では、 ・ では、

澳力治淋新藥 景士福原正義先生創製

墨電五九一八 電五四三九

ミシン 常瀬橋河島ミシン店 電流大六八四 古本の御用は 拓茂洋行紙店電

大連市三河町二 大連市三河町二 小林左知 高話七八六七番院

海見 尚科 登院 西公園町六九 電話八110日番 佐渡町二〇西廣場幼稚園裏 佐渡町二〇西廣場幼稚園裏 早川齒科院

税務當局の徴税策

力を注いである、そしていかにす 脱税がなければ相當の 附原地に居住し、特配の電板は一のだが――満洲國特産機人中には

に残つてゐるのでこれな教教するであつた、其の因者は今も何處か められたのでまだ見ぬ憧れの一 これな一律に施行する意向である

特重出週期の現在であるこれで税金の一番多いのは何といつて 糖に達する

多いであってある。これできるだけ終税の成績をあげ

邦人の

新判明せず でを

ける狀況を視

副が山下助太郎氏が選出

本職の大学を表している。 一個の大学を表している。 「一個の大学を表している。」 「一個の大学を、一個の大学を、」」 「一個の大学を、」」 「一個の大学を、」」 「一個の大学を、」」 「一個の大学を、」」 「一個の大学を、」」 「一個ので、「一個の大学を、」」 「一個の大学を、」」 「一個ので、」 「一個の大学を、」」 「一個の大学を、一個の、「一個ので、」」 「一個の、」」 「一個ので、「一個の、」」 「一個 を記名を表情を表情を表したてある。 ・ 一点日午前十時より北五條町集 ・ 一点日午前十時より北五條町集 ・ 一点日午前十時より北五條町集 ・ 一点日子前一点に襲行される戸外 ・ 一点日本により北五條町集 ・ 一点日本により北五條町集 ・ 一点日本により北五條町集 ・ 一点日本により北五條町集 全鞍氷上大會 舊曆歲末賣出 スネーク リレー等各種四十回テーズ連絡鞭走 氷上スプーン一周 二周 五周 十周 背進 二十二日舉行 安東の試み 台同主催にて來る一 當日は鞍山神社 都會人に 虚弱者が 大阪・道修町

学古 流尺八指南 李天康浪町一六 名和榮次郎 本天康浪町一六 名和榮次郎 本天康浪町一六 名和榮次郎 山縣進日本タイプライター 舎社 中漸應常 中漸應常 小林又七支店 包紙 さ組各種 白帆・天帆高級側化粧紙は

電話六六五〇番 嶺前世室料四圓以上修需 クサ 日本機際 電話三五八四番 大連高真貞 實印の御用命は

本病 乗。大學ミツテルの出現 大連沙河口大正通八五 三共商会

大学ステムバー紅大病 **石井家畜監**

三清洋行地金部

北の原何でもウンミカ金属、金製品

信濃町通溟速町電車停留所解ハリ灸門療院

不用 品高價質受象す

後 見 明 明 明 明 明 明 十 代

まなら此もう常もなく一、二度も 製さんたる都思い切つて戦物もしたが、再々買つてゐては御自分の 御手許に支職が来るばかりで夫の を更し一向に止まれとあり散下動 で変し一向に止まれとあり散下動 で変し一向に止まれとあり散下動

(服分)錠五~三 日~ (服頓)錠三~一団~ 量 銀〇五 入続〇五 銀五二入錠〇二 銀〇五円三 入錠〇〇五 銀〇八 入錠〇〇一

感冒、

肺炎

咽喉痛

元壹發

元造製

肋膜炎、

ロイマチス、

類なく而も遙かに優れたる消炎鏡に用ひて瀑布の如く屢々交換する

店商衞兵長田武 社會式株

鹽 社會式株

會名合巴二

(町修道區東市阪大)

社會式株藥製本日大 P 元 養養

(する刺散末粉)

五〇〇瓦(二圓五十錢)

1000年(四國五十

100瓦

(E)

 \mathcal{H}

三五〇五(九

数の類似品あり

腦脊髓膜炎

二名中一名真性ご確定

質探とスケ

戸外デ

- 【編編】来る二十二日の全瀬戸外 デーには線響行事として賦報の返 デーには線響行事として試報の返 変くスケート大會の外際日正午サ であり定めし多數の人が押寄せる 要にスケート大會の外際日正午サ であり定めし多數の人が押寄せる 事イレンによつて老若男女小學生等 でありためし多數の人が押寄せる を でありためし多數の人が押寄せる を でありためし多数の人が押寄せる を でありためし多数の人が押寄せる を であらう であらう でありためで でありためで であらう でありためで を でありためで でありためで でありためで でありためで を でありた。 でありた。 でありた。 であらう であらう であらう であらう

マシ油代用ごなる

の女の見は

定

石界6開祖 **产活大**

電話九九三。掛

地区雲井町五

加亏

百般

安東旅行俱樂部

近人愈々發會式舉行

支 連 **本大吉四話**

ま

大利辻

肺門淋巴腺炎及羧高不良呼吸器及消化器慢性病

滥谷創榮

本品の

的。

よ

X 線 完 備 入院隨時

科 醫学博士 西公園町春日小学校前 腎臓・血壓及婦人内科肺尖・肋膜及慢性請病

12 30 藥子 小冊子一恐ろルい鯛虫」お申越次第進品 業績 子に クシゼリ M-123

窮民救濟

一般有志多数の出席を希望する に震動・第一回の會合を解す由 に変し、一般を表現の出席を希望する に変し、一般を表現の出席を希望する。 を変し、一般を表現の出席を希望する。 一般有志多数の出席を希望する。

吉林の寒稽古

堕落防止のため

藝妓に試験

達夜の如く猛練習。

層域があるこ月十一日の 株別ではる由で今後 紙ができる由で今後

研究會尽合

日下 【業京】武徳會新京支所の創造を 京歌終署内巡場に於て既離される 京歌終署内巡場に於て既離される 京歌終署内巡場に於て既離される が十六日午前四時多飯の鯉士來鬼 が十六日年前四時多飯の鯉士來鬼 が十六日本前四時多飯の鯉士來鬼 が十六日本前四時多飯の鯉士來鬼 で ひ火の出る延みのたなる武を行 で

物資の大輸送

舊式電話を自

『書林』

「書林』

「書林』

「書林』

「書林』

「書林』

「書林』

「書林』

「書林』

「日より向ふ三週間同

「書機上に於て

「記と同じく

「監して盛大に緩行して居るが

」

「記と同じく

「記と、

「記述、

「

黑河駐在の周作霖氏談

と共に吹ぎた計る可き凡ての設備 ち續げてゐる と共に吹ぎた計る可き凡ての設備 ち續げてゐる

安定策か構じなければならないな定策が構修に當て、拉哈繳江間は一点が開始に當て、拉哈繳江間は一点が開始に當て、拉哈繳江間は一点が開始に當て、拉哈繳江間は一点が開始に當て、拉哈繳江間は一点が開始に當中馬糧燃料のなき所に

新京警備軍

を動脈が正となり ・出験でしめ特別大警戒 ・関原の年末

宿泊經費徵收

當分商務會で負擔

米壽の祝を前に

福田翁室死す

オンドルで蒲團が焦げ

ーデンニクマは日本 で ない 腹のとも おりの 指摘 ひとも

錠

盛大なる慶祝大會

岫巖城で

で突地四名に養地し不等にして右

四一出番した
四一出番した
四一出番した
四一出番した

男士

要全に排血

着列車で來鐵衛

不材界活況

昨年より四割増

大量注文で製材に忙殺

傷病兵

通過

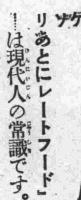
「四平街」在チチハル〇〇隊の保 地域兵四十二名は十六日午前六時者 地域兵四十二名は十六日午前六時者

タ同好者

数千民衆歡喜の行進

二明後進跃大 商店店 友澤蕭 社會共雄

料容整白乳





瓶 の地 0

守

尾 **萱** 平 商

店

た。 なるか見みの寒間の博士は、気が ないものです。しかもその原因は矢 ないで最も始ろしく又死亡等も高と でいで最も始ろしく又死亡等も高と ないで最も始ろしく又死亡等も高と ないで最も始ろしく又死亡等も高と

カゼの豫防法

風邪を怖れよ

寒さは乳幼兒の大敵

に入れの車は勿論、咽喉に裏布す きであります。外出させ攻事、湯 きであります。外出させ攻事、湯

油斷すると命取りの肺炎

だが斯した注意をすれば安心



育兒の百科辭典を兼ねた 部



消化不良は… 冬もあります ★斯した不注意をせぬ様★



百日咳が

た機にカゼがもとですから、咳が

りますっかは宇津教命丸が、貴重な安心して服まされて好くキクお薬安心して服まされて好くキクお薬安心して服まされておるものであり、として、信頼されてゐるものであり、というないのでは、一次のは、一次のは、

出であります。酸も変にとなり、心脈が犯されて脈も膨くなります。 家庭の常備薬

桂月傑作選集 蘆花傑作選集 藤村傑作選集

◆皆◆様が忙しがつてあるとき、「この利けない素さんをおれる機能がます。

●總紙数一千五百頁 定價七圓の 漱石傑作選集

赤ちやんは

◇只◇

不平を言ひます



夜のウテナ花印クリーム 朝のウテナ雪印グリーム 地肌から白く美しくなる 分を爽快にする評判の日常美肌料が雪印です。 クリームは、脂肪性のアレ止メ、地肌の榮養料として、美肌保護に必 クリームです。ヒゲ剃りあと、素顔の美白、濃化粧用として、朝の氣 ウテナ雪印クリームは、無脂肪のサラツと快い純白雪のやうに清純な ウテナ花印

鄉本京東 店 商 吉 政 保 久



美しくなる 道は!いと近し

あ

ち

きのふ日本橋にて

株に耐家の基礎たる歐内治域の維持は日本軍の軍事経協力によって着な整備し熱河、それからそれへと達成され建國の基礎は超スピードに確は實に多事多忙東洋の歴史的轉換を如實にし事業は恰も走の實に多事の感更能認出を悪へる清洲殿にとって過去一年の

滿洲

進軍

16ミリ用 及び 9.5ミリ用

間が上いた。 ・ 他のでには対象を重要的側点 クリーク製度に対す分別をして 保止実育するもフィルムに重状を 来さす) ヴオルトメーター用 パイロットラート

スクリウ式微細調節方式

室内管理用アウトレット

送風用强力層應機

アホリ用ノツブ

- 太附屬 F型 230 国

つぐ新京

子職夫妻、石川別常多州、左 いて御媒妙徳川家建公夫妻、並花出迎禅に御鵄餐同三十分常間にお 新即に向はせられた、同

野営地に監禁 蘇炳文部隊を

年 八 和

三、建國事業の促進一、建國精神の皷舞 - ト側の養表によれば蘇城文部 家は最初三百十五× る、蟹山方館から海 があから海

新國家の

されてある

新京電話 高山〇隊は十 徹底的に掃蕩 劉景文残黨を

軍閥に操ら

徹底的に掃蕩し大偏線に歸還

抗日運動から續々脱退

生義勇軍悟る

0

田洋汀脈

白野齒科醫院

等の機製を急ぎつ、おつたが一瞬 関便乗その根據港たる海洋島に運 がはと給名、水ト署及び継子監署 がはと記る事となった、因に能置 の大さは長さ六七呎、幅一三呎、 女

3

カフェーな家内してくれまな話者をつかまへては「君一 カフェーを案内してくれませれ、然し監務課題としてカフェーた、然し監務課題としてカフェ 機械が氏、数

す 明石市外玉津村 日 輪 寺町効恵町 築あり申込めれ 無料送報 海疾の本病に

要臭しま 小型活動の現像、仕上 小型活動の現像、仕上

満洲映画社

8 宅 本各 洋菓子 地名産

久方町五番地 配金 第三丁目

除く外は先づ一段落を告ぐ 残すは熱河

樂土に匪影漸く空し

等を目的とする土匪三、失戦一、 海軍関の残骸は海軍二、

目さるゝが、その他にいづれも今一の 撃がありこのうち二校は米厩系と 北平には目下公私合せて十五の大

一の最も運動の熾烈なのは態東北と 気勢をあげてゐるものがある、こ

高に至った、これ等感的の兵庫も 萬九千に滅じ像大なる成績を戦む 東龍江省五千熱河四萬五千で約六 東龍江省五千熱河四萬五千で約六

でがては対域上 19 対域 に 開順、 これ 単元 に の 兵庫 も 記念日を迎へる新院家は

選された反演思想の指導の野脱火は歐民政府より響か野脱火は歐民政府より響か

日滿國旗を掲げて

老來好歸

等と駅上では

では

部下百廿名が

学る十五日日浦殿

に

部下百廿名が

学る十五日日浦殿

で<br / れた集結し帰順式を繋げた、部下五百餘の部下がたるので十七日こ 部下歸國者には旅費支給 新京中學

三月一日慶祝大會

國務院會議で決定

は微笑む

めて平 新京中央校の新設は十四日午前の流線重役會議で正式決定を見たの流線重役會議で正式決定を見たの 回生百名(二學統)の募集が可の申請書を提出、二月上

敷地も物色中設立認可申請

地としては歐都地震局の説解の下に新記書による執政府の北方、西に新記書による執政府の北方、西

た當時の支那公使佐分利真男氏の罹機富士屋ホテルで謎の死かとげ 佐分利公使は他殺 流血が除りに多量でまる。 のト場合

と題でる一書な上梓し知言を取する一書な上梓し知言

肉彈三勇士の銅像

には新界の職職が には新界の職職が明 はなつてある、完成

したから勝つたのだ」と如何にも 教を注目を呼ぶに至つたのだ。

丹なのんではいかん、仮な喰つてれな非難するのは恰も競技前に位 英國でも貧民激増

る、右の戯字は人口一萬人につき 三百六人の割合で、一九三一年の 六月末に比較して四萬四千三百八 これをドアー戦に降いたのが林、 これをドアー戦に降いたのが十六日の雪、軍役食会を機会を狙ふうちブツつか か降りますしけふあたり一緒に

「それでは……」と先づ天平遇 「それでは……」と先づ天平遇 「それでは……」と先づ天平遇 いで御馳走かしたのは好いが、 「本の漢にまロ酔び機嫌となり

に行つたら感す一番戦の艦校

責任速劾秘藥行始的職

溘

酒

ロブバウ

ルケナー

+ ○本○一、九〇

シスユキ

1

7

IJ

一、五〇

ウンドケー

0

普通寫真部特設 三五ミリ、一六ミリの

に取掛ってるたが最近に至り在 生の語るところによると皮肉に 着するこれ等大學 云ふ事が解 た今部市西山炭坑に郊を統命作業」ため城夫八名生埋めの惨事を起しまれる。 救生助埋 中央銀行の取引も着々の經濟事情が会安定 め坑夫 歐米資本家の 女住樂業の ス客に對し 見したが機会と実績で極度に疲劳・動質は全奇職的に生存の一名を養・養養を影響の十七日午前十時四十分 成は生存し居らずやと測出した。 視察者相

て着連

けふうらる丸

更に改良されたる

75V - 400W)

詳細なる印刷物あり御串次第進品

携帶用鞄、リール、接合機と

連、上陸と共に関東倉

特殊構造フイルム移送 芸

一齣移迳装置

三菱製或江芝浦製

特製モータ

改良型角臺

の電氣的調節部の角層の角層の

王道精神の發揚

がない。 一般では、 一をは、 興稅賦課 役所が準備中 海洋島警備船

小倉石油損害莫大

*村上、心の問題の解決に置い方は左記に御申込下さい基督教に の問題の解決に置い方は左記に御申込下さい基督教に が表現した。

刊月

滿

評

每月二十日締切

中學

原稿募集

原稿科を提供す

毛糸はフ

1

Í

8

越Ⅱ

十時十五分市内壹岐町四七ノ五壹岐町の小火十七日午

頭腦

管理の

平衡資金!

それ

は

73

のため同列島住民の離金な本職来職警務局では長山列島駅

ハネフトン修繕 中川大連市初音町三大大連市初音町三大大連市初音町三大大 | 東京十七日登||小倉宿油は敷地|
| 内百五十のガソリン・タンクが次|
| 本に引火爆酸したが砂をかけ必死|
| の潜火に午後十一時職く鎖火した|
| 指雲葵大なる見るケ

H

時

一月十八日午前九時より

投文軟實評

名作

カフェー、花柳屋世 町 郷存を希望 ・ 大連市榮町二(電五七六七番)

よ物記物語事

先年來ソーシャルダンス教授法を 丸升氏 ダンス教授法を 大計論師銀行へ入電があった 表した論師銀行へ入電があった

書骨並展 觀正 札賣立會

場所

敷島町元歌舞伎座跡

會

には是非御利

莊

次

ホワイト ウキスキー

明大小紙の 六遼 東 ホ

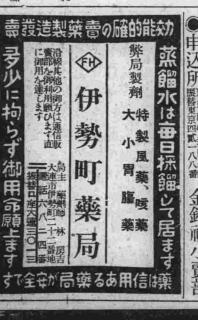
で御勘定を頂きます 階ル

遼

テーブルは―出前も致します 用願ひます萬端の準備を調へて1 T ます



(日曜水)



清淨から健康

芳香は床しく、

何時も清らか滑かに整へられて、すがし

質面と

肌増と



適切 圓満

有效 増進 千五 五

學校の成績がボンヤリしたりから

製劑本舖

岡山

日名

弘樂堂

「面白いほど勉强ができる。」では、こそくらやみから抜け出れこそくらやみから抜け出れている。

金三円

今

年

0

風に

は

小兒科醫院 角電六七五〇

毛糸

大連市信憑町市場 Ш 水 洋 行

總代理店 オ IJ ヱン

5

印度リプトン株式會社

紅茶の入れ方

でコップにつぐ。數滴のラム酒又はずめ、さめたる湯を捨てリプトン紅茶茶め、さめたる湯を捨てリプトン紅茶茶が、は、2000年では、10

を入るれば其薫亦妙

ル 貿 易商

塩と佛

各種御進物品卸 燻 內店貨百連 **委四五六四**話曹



日海製油合計 0000000000000

が第一です

リプトン紅茶 | 清等品・青編

第十五條第四項を發動か

イ博士)、ノールウン・バーランド(ラシンスキシコ(シゼンス・スキシコ(フ・スキシコ)

張學良の無力に

般民衆失望

議長、總長から修正案を説明

られるかも知れぬと躰徐され、松岡代表等は或はその領障臓でるかも知れぬとされてゐる酸し、二十二日既に出願すから日本家が同意されても、その結末は來週の月、火曜、遅くも水曜(廿五日)ら十九人會に報告し、之た基礎に能議する讓で其後の經過は集徽出來ぬが、英州根サイモン氏が十八日党我回答を見が和協の努力を織けた結果、日本政府からこれなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨をが和協の努力を織けた結果、日本政府からこれなら同意し得べしとの案を送附し來たつた旨を

廿五日迄に運命決す

正の上職器總會に提出され、は帝國政府は第十五條適用に留保し既定態度を固持表決の場合は整備して消極能に承認し、修訓するが、右修正は第十五條第三項の和協能労力を破壞するものでないから結局職監側は歩み寄るべく、斯くて右決議案と登」ドラモンド總長起草の總會決議案に對し帝國政府は既定方針で再修正の要求を出すことに決定し、本日閣議に諮つた後

另 木 鈴 治代喜本橋 盛武 村 本





支那代表部 徳され注目を表い 十九殿委員會に動し歐民政府では 下ラモンド機長が決論家を日本に 戒す

の参加なは

總長私案は

事務局案に非ず

委員會ゴムミユニケ

明なるも支那は斯かる屈服に等し

の抗議に鑑み、ドラモ」としそのコムミニニケとして發表・サ十六日發】十九國委 本と抗酸中の家性として取扱か事

總長私案の

大連市役所では十六日午後二時か

たへ持ちかへたりして、指先の東 だんけっかんだりして、指先の東 だ

織が行ばれてゐるから、國家だる主権の永久不變を信じ、國家的組

大連市參事會

に凍つてしまつて、動きはしたがが凍りついてゐたし、唇はとつく

既明し、その支 ド事務總長は今朝の 觀測一樣 詳細に安協和案を

從來と變つて純理論

るので、本日の十九國委員 ・その支持を求めた事實あ と観てゐる向 ら市泰事會で招乗 一、脚蟹市場現金前渡の件 一、脚蟹市場現金前渡の件 一、脚蟹市場現金前渡の件

取引問題その他で相當販ふも質問の連告あり、卸賣市場の



本目開催された一の説を立ててゐるものもゐる 四名の昇給を行つた

現内閣挂冠を豫

政友會の對議會態度自重

の意然の行動で、環流案を出し 常事件を質問しようが政憲とし 治事件を質問しようが政憲とし

首相を訪問

臨楡縣の居住民

滿洲國合流希望

わが山海關軍は傍觀

全駅を漸州版に合流

本駅を漸州版に合流

本駅を漸州版に合流

本野の海州版に合流

本野の海州版に合流

本野の海州版で高流

本野の郷が高歌してあるが

一般で高歌してあるが

一般で高歌してあるが

一般で高歌なりとして一切で淡

一般で高歌なりとして一切で淡

一般であるが

一般で

の第一線に

主力を配置

コシイ語があるものか。 めると 選木が、振向いて、歩みをゆる 楽が見楽は日本家だと?、日本 『うむ』

れで日本を驚かす無が可笑しい。「中隊長」

商震軍砲兵は縫州へ

排日商賣

0 ますっ

「満洲は、いつ、支那の物になつ」「落ちてあるやうなものでありめると

大津郷由蔵州に随った 五と、東に年味北平郊外郷 東京・東に年味が一十一門場が第二十一門場が 東京・東に年味が一十一門場が、一十一門場が、一十一門場が、一十一門場が、一十一門場が、一十一門場が、一十一門場が、一下の砂

圏に、責任の監廻し、支那奇術の 蔣介石は張學良に、學良は何柱

見本はこれの

「満洲は、東那の物になった事は

ってありませうかい

午前八時着列車にて奉天より歸 **うらる丸** うちる丸は十

本井高岩一郎氏(東興洋行重役) 本井高岩一郎氏(東興洋行重役) 同上

でイツの大砲、アメリカの飛行 続や、管盤を背負ってない。 と、思ふと、道木は、自 見ふと、道木は、自分だけ 。本つてくれる)

くよく、やつてくれる) と、腰とにおつて、うつむきなが てをらんだらう。それでも、変形してある。 満 と、腰とにおつて、うつむきなが てをらんだらう。それでも、変形も いつも道木の話相手になってくれ

原案に同意を得た ある重さであつたが、それな、肩上上の上も 聯盟會議中 研漢民、陳濟棠、李宗仁等西南 した、黄は厩三日中に上海を出

直木三十五作

(大津十七日餐)中央は張摩良に てしまって 一年でなった。 一年でなった。 一年でなった。 一年でなった。 一年でなった。 一年でなった。 一年でなった。 一年であった。 一年である。 一年であった。 一年である。 一年でもの。 一年である。 一年でもの。 一をの。 一をの。 一をの。 一をの。 一をの。 一をの であつたし、呼吸、電ると、呼吸に であつた。皮膚へ電ると、皮膚は であつた。皮膚へ電ると、皮膚は であった。皮膚へ電ると、皮膚は

人が無く、打つちゃつてあつた

自重せよ

大學生三十名と共に前線を指導し 鑑にも、毛皮の毛にも、白く然名が一月十二日錦籠し光餐の爆車、無くなつたのと同じとであつた。に髪加せる第十九路車の幣校二十 わかるだけで、腹から下の足は、な丘秦皇島方面には昨年の上海戦 いて行けるから、足の無事立とば、な丘秦皇島方面には昨年の上海戦 「無くなつたのと同じをであつた。」 なつてしまつて、値れずに、歩」支配しなくてはならない 足の無事などが し、清朝の養鮮地と

う、例へば、アフリカの砂漠の湯

満蒙の戦慄

內蒙自治軍

長短玉山部下四百名は昨年九月以一決定した 満洲軍に編入 に編入 に頻率に編入され歳平、法庫、満州軍に編入され歳平、法庫、

「私も、そう思ふであります」 遊木は、笑つた。他の兵が 云つた。長が、どつと気つ (井)五十錢(韓原王婦

で狙撃され重傷

からな

熱河軍の崔興武と張合つて

開魯市中で同志討ち

鶴が舞ひ下る

大連富士から

あからともなく現れ、 一羽の騒がその欄に陽なる。 の場がその欄に陽なる。

には微交わり歌文あり楽古文には微交あり歌文あり歌文あり歌文

大ス

明日うらる丸で來征

・部様様の明治大地でられて唐る浦

は同都着連接協議の上決定の答で 内地域値の関係上一行の試合14年 港のうちるお、着連する、野人の

全面に二二十

満洲國政府外交部で

夏斯史用料 一區 (四四) 二 三期中念五十加以上百六十加

生きた建國資料を

名の観さなつてたり観合それに大連市して、調査した場石は実在ってたり観合されに大連市 難した臓石は動化二重の二十五た大連響師等係では質物につき

御紋章類似で

の中から融通し一個大校一二十五編以内の着花製作はこれを選らうと云ふ男に語を鑑し郷花御紋章と続れ易く而も法律はが洋服の際につける議員一のマークを配したとはいへ息筆の 嚴重に警告 黒に金で変化を浮か 市議の新マ か一禁じてゐるので早速観光 ーク圏案

を 日くや空は右脚了を と変職し死傷者五十名なおして の脚丁が脚を率の許に受けとりに 地の反浦軍並に匪賊を爆撃した。 右 間志討な行ふにいたつな脱歴は縦 州より同地に随び獣魯滅外の振鑾 インスの脚が飛び出して空軍の展舎に のである、この日わが〇〇隊が織 地の反浦軍並に匪賊を爆撃した。 右 に懐獣し途に交戦するにいつたも と変職し死傷者五十名なおして いかば か しゅう は できない か しゅう は いった は いま は いった は いった は いった は いった は いま は いった は いま は いま は いった は いった は いま に いった は いった は いま は いった は いま は いった は いま は いま は いった は いま は いった は いま は 所より同地に随い間を破死の機嫌 以内使用禁止のである、この日わが〇〇隊が織 菊花二十五糖のである、この日わが〇〇隊が織 対応二十五糖

客を抱いた 唐が間

安東城子疃間の

バスは金福經營

鐵道ごの連絡を圖る

大大党等の分子でであらく何手に人らられ

雄人で出さした

なつてゐる移民劇の一員佐藤

煽動機關を動員し 女スパ イ暗躍

北滿赤化の魔手動く 「伝統神に宣傳」の除去には 椎黴の 勢力な 必要と

製具以下四名の名かもつて製具以下四名の名かもつて 的は全勢価階級のみならず 集積し者季なもつて暴動を誘起せを行び且つ所奏地転に武器輝東な

自動車雪で

の進院を持つて本一選行をみる機構でおる情報であ

な報ぜた御用船を映丸は十七日午

金五十五錢

七時五十分開門海峡を通過して

ツラサーから東生への無願にモエ自ら懐んで初めて知る重いむ疾の

産

野ワマエ

大本營御用酒の

秦東洋行

夕映丸字品へ

橋から川底

墜落

けさ旅順で三名死傷

新 動は胸部にそ

事あると、他し市民に於て特別の事由わりと

悪疫が流行

穆稜附近に

先驅列車で警戒

列車を武装

ため運動態に居つた友平は即死

鄭桂林軍擊破

項は左の通である 觀客誘致協議

てある 名譽の戦死 向原上等兵

順戦と突襲し上等長げ名縣の暇光 四キョ馬家藩において四十餘名の 関キョ馬家藩において四十餘名の

送繁忙期なので

他は貨物列車な成るべく旅客等自める場合は特徴すること

大連市能満洲大康党會の使用料は一十六日の市参事會に附議されたが

料一小問(問

完服拔取り

滿鐵警備會議で對策

満洲博出品の

各使用料合

市参事會の附議原案

書書件華展觀正札賣立會 名實共に一致せる 日時一月十八日午前九時より 東島町元歌舞伎座跡 0 莊



伐が飛と定了しゃく睡眠の暴虐な【新草電話】東支東部線方面の計 る手から数はれた機模初め附近の 今度は悪性の流行性胸脊髄膜炎の サ宇治茶製造元 ・新府機喜都草内 ・五草・園分 ・活療者を無代で進早補譲減を 流洋 京 東 町喰馬橋本目

爾語七〇四二番

店

バツクアイ大型立體孵卵器孵化自色レグホーン初生雛及中雛優秀多産純血タンクレッド系 ひよこ豫約分譲

養

次

ハリーデヤン美容室を

美容のお相手は サ 智 門 下 松 木 田 田 田 崎千 年安

小羅倉紗

御會葬 御 司 大連市信濃町市場 電話四四五七号 親族友人 一

地(二五六五十) 歸滿する 北平から學生

武装移民團の

佐藤氏表彰

敵状を偵察中に殊勳

神)には強正月か煙へ 上難では暗部模様紫癜し悪客の 鯱に目を光らせてある大津より入港した動州 した者が振名あるのか使見した水 が、密局ではこれ等の北 平から學生 壁生があり、その中に傷名で無能 百名が大連港を終出来 が、密局ではこれ等の

の通り身は潔白と 八圖々しく狂言自殺 大芝居には流石の刑事連も一 英國皇室御用

ホワイトラベル ウヰスキ 全満第 一を誇る

署に連行殿軍取調たる

は完全にいへる様に

ウサギー

さんでかへるうちにウナギ二十びきのたいれうで、

シなふみはずして…… あまりのうれしさにうつかりとア

そこにおちこんだ

家庭顧問

呼吸器方面 てはないで

せうか

巡查試驗

崎榮二郎

開院

參謀總長宮殿下

御染筆

揭額復製(絹地) 預

謹

はどに御利の

下着の種類ごその着方 講習所嘱託玉利ョ 件裝 す。御北人の下着とかカラー・シャッ類、御子様方の壁校服、御自田 分のドレス類の機なものを御自田

5るとことでわりとこ の間に、皆様が如何程準神織が得 至二年或は五年、十年と長い家計

今日 私共の生活は配 改良が唱

長い時日が練ちますのは

せん。此の事は悪な が何よりの意味であ が何よりの意味であ が何よりの意味化に ら

利用して再び役立たせなけ

グロタカ手切銭二要

社

Ξ

電話井田西三人元本

冬のお化粧料は全世界に誇る

高新洋行

代理店

申

込

所

連

市東公園町

洲

報社

事 業

部

內

滿









には非常に難くて中耳炎の男の

悪臭を放つ 十一歳の男子

| 答 | 大きなお子

書籍

服の下着について充分御注意遊に は洋服より遙かに温かいとの河撃ます。然し冬季には和服着用の方 用させます。

着を省けさせるのであります この一上にや、地の際

縫い合せて着

0 新印刷機の " 望 によってスピード 事 の出 業 C姉妹機 ¥ 35.- ¥ 55.-¥ 45- ¥ 65.-





いのでなる



一、復製法 大及小の二種は帝室技藝委員 一、復製法 大及小の二種は帝室技藝委員 あそばされ此の重大なる難局に對し金仁親王殿下には新に參謀總長の要職に今や軍國極めて多端の時に方り元師関 めにこれを頒布するとになった * 小 羽二重地 時に方り元師閑院宮戴

ざる處であるが吾滿日婦人團に於ては今般子し給ふ、吾人國民たるもの寔に恐懼措く能はの御身を以て畏くも挺身奉公の節を國民に示 きものありとし全滿洲における在住同胞のた將又國防第一線に立つ吾人として真に意義深 院参謀總長宮殿下御染筆揭額(複製)を在滿同の御就任感謝の微意を添表する意味に於て閑氏を副會長とせる皇道振興會と謀り聊か殿下氏を副會長とせる皇道振興會と謀り聊か殿下 奉ることは近時の如き非常時日本國民として 胞に弘く預ち日頃家庭に於て日夕これを仰ぎ きものありとし全滿洲における在住同 幸ひに江湖忠君愛國の土は奮て御申込あらん 極上統本(ヌメ地) し金技玉葉 御就任

電五五五四・四七一三年 勢 町 案 内 所 アンツーリストビュロー 大阪商船株式大連支店大阪商船株式大連市縣連 東屬荷扱所(大連市縣連) 東島崎投所(大連市縣連) ・ 上市 代 国阿波共同汽船

▋□清汽船」出帆

四乘船切符發電所 東船切符致電子 を 内 所 (電 五五五四 大連伊勢町 案 内 所 (電 五五五四 大連伊勢町 案 内 所 (電 五五五四 大連市伊勢町 案 内 所 (電 五五五四 大連市伊勢町 第 五 五 五 四 大連市 1 本 一 三 大連市 2 案 内 所 (電 五 五 五 四 八) 京 案 内 所 (電 五 五 五 四 八) 電話 2 連 所 」 第 3 洲 旅館 協會 電話 2 連 所 1 条 第 3 米 1 条 第 3 米 1 条 第 3 米 1 条 第 3 米 1 条 8 米 1 全 8 米

大阪商船徐武大連支店大阪商船徐武大連支店大阪商船徐武大連支店

明鮮銀道各土要課及本會社寄港地 村市汽車汽船出帆日時は天候其他の 「福保に依り變更すること有之候 水路岡誌海園販賣所 キューナード汽船會社 近海郵船株式会社大連代理店 日本 新船株式会社大連代理店 日本 武舎社 大連市監部通音 装橋 大連市監部通音 支橋 大連市監部通音 支橋 東陽 客荷 丸 一 商 會 電話四二六四・五八八八 電話四二六四・四七一三 横今 行行

冷す影の静かさ

美

保溫以上に服装美を

スウエーター二つ

機能あた

、撃用品は家庭にあるものでしのは特だせないことにしてすし

賣店を利用された方が便利でやうすべて賣店に前ってまし

目心地のよ

日子の光線

、學前、學齡兒に れだけを仕込む

たい児童が概念のります、これに見の服装より複雑なためによ

のやうな事を保護者に希望されてゐます。 のやうな事を保護者に希望されてゐます。 のやうな事を保護者に希望されてゐます。

こだいます。この寫真はいづれも 者心地のよい細糸

せらが脱毛

毛薄毛

生ぎは悪人感

性病

專科児川

軟構

東京麻布飯倉四丁目大日本繪書會 則呈東京連谷青葉廿日本無条學院身成功開業者千五百餘人の經驗規身成功開業者千五百餘人の經驗規令院出見大時外中謀上

秦 記 計 生 地 世二 一 町 狭 岩 市 連 大 (前 院 医 男 岩) 院 醫 科 歯 森 藤

ハーセント頭

掛九〇五三話電

東京樂養食品品研究所東市芝區新橋二丁目提華三四四一番

公內容見本熱無代贈呈 東京 出來ると云は 出來ると云は 車場 會

系 単色の 様やお蝴蝶

獨學就職成功の秘門開く自動車の運轉手になれ!



の大連 天津湖航)(天本 河北 丸 一月二十日大連汽船株式會社 電話代表番號七二三1番

大連東東 一月十八日 大連東東 一月十八日 大連東東 一月十八日 大連東東 一月十八日 大平東東東 一月十八日 大平東東東 一月十四日 大紹客搭載) 東 一月出日伊時 大條客搭載)

1 川崎汽船連出帜

注世二十 八三十五 日日日日

昨年の素晴しい數字

人好調を示した

Rは毎年四月より千月までに はの舟便めるのみで燃も同江。

奉天師範新卒

遠く酌婦に實施ばされんとし

虎口を脱れた彼女

校の所物者はまだ受取に来ないたが等態臭取店の富田家で残り三

古氏が五枚のう

▲入港もた軍艦平戸○○隊はよ

當籤者

▲森本警務課長は康て殉経警官恩

奉天歲末賣出

【無順】無順社交ダンス研究所と 【無順】無順社交ダンス研究所と

あつた市内東三條

見明氏に関する

順にもこゝに初めて

ンス教授所が出来て

◆無順 営地千金客浦 間なく火災の度に炭礦消 置なく火災の度に炭礦消 では従来消防縁の設 では従来消防縁の設

吉野町 一萬堂 電話七八五九

演る番大、警察大、編制主の横より入るる大、愛玩大・電台へを表し、一切ない。

高 東 男女支那服の準備有 男女支那服の準備有

三清洋行地金部 (電話三六五〇)

お電話次第店

大連沙河口大正通八五 三共商舎 本病 悪・大學ミツテルの出現

せてゐるが教授料

ダンス

教授所

等古 流尺八指南 率天職浪町一六 名和榮次郎 李天職浪町一六 名和榮次郎 後。夜間 一次 後。夜間

及び各聯な中心に二千米突以内の圏形内に高粱補付けた禁止と流気になった之がため従来購及は鐡道糖路で従業してゐた漸級に改めて

【事天】な天教育職管下

二倍にして一千米突とし鐵道線路を中心に両側二千米突以内に高粱の械付けを禁止したが本年は之をり片側五百米突以内に高粱の械付けを禁止したが本年は之を 鐵道沿線二千米 高粱の植付禁止 當局の匪賊豫防策

かに反し支那側 た反し支那側

Aける 状況 な調整

奉天省公署の躍進し 公同二年目指して

税務當局の徴税策

がし思いしょらの前 に育つた仮女にも乙女心にその小かりて通々内地から 満洲行う、それは岩手脈の片田舎

に ので飲食の提供や ではないので飲食の提供や

校児童保護者奇へ各金町木七八の兩氏は雕鞍で出八の南氏は雕鞍

電話六六五〇番 電話六六五〇番 場

講習所

から中央事務所に於て開舎の鎌定主任舎職は十九日何れも午後一時主任舎職は十九日何れも午後一時無限炭礦箇所長舎職は十八日初事務

和山少佐は訓録と激勵の耕た を職する所あつれが其席上に の職と種々属内の治安権持に の職と種々属内の治安権持に の職を対している。 の語を対している。 の語を対している。 の書を表する所ある。 の語を表する所ある。 の語を表する。 の語を表する所ある。 の語を表する所ある。 の語を表する所ある。 の語を表する。 の言を表する。 の言を、 の言を表する。 の言を表する。 の言を、 の言を表する。 の言を、 の言を、

白帆・天帆高級御化粧紙は

拓茂洋行紙店 電五四三九

早川齒科灣

器具 電無器及スタンド 電気 舶来オスラム英斯ス

話三九七一番

和金 各種提灯材料即門屋 水連市岩代町五番地

性皮膚 施護町式 或語八二〇三番 西公園町六九 或語八二〇三番

日本学行電ニニニ三二

果板鈴木式、鶏崗式 東瀬用具・単純、幼 東瀬用具・単純、幼 東瀬用具・単純、幼 東瀬田県・単純、幼

おるのな教見し属出により家天著が徹常の空家に一邦人の東死機が 邦人の 身許判明せず

戸外デ 撫順スケート祭 當日に

て優女の親から彼女 で必要した彼女は からないな求めず でと考した彼女は でとあれいな求めず

全鞍氷上大會

二十二日舉行

渡し假地響に耐したいため流線に引

⑩満日案内

引艦なる上職軍を極めた由で午後引艦なる上職軍を極めた由で午後

(四)

二十二日盛大に舉行 を容れ施達の申込んだ周波をさ、 その周線域は複なが反響する意志 かつた、対策を弄してども微鏡に

へ東瀋海線を繋ぐ

道敷設請願

東邊道各地商工會代表の願ひに

奉天省公署でも審議

なく、之等の地方一帯に東出する クの大家がである

旅順市長事務

たるが、それでも来が聴がなくて で来た内鮮人のルンペンは多少各 方廊の同情により就職かした者も というないできない。 温かか 率天に宿泊所設置-

で電板は共頃にかけ

舊曆歲末賣出

安東の試み

スネーク リレー等各種四十回テープ連絡競走 氷上スプーン

宿を提供

ペング

一般に内地に跳つて

決定したが當日は鞍山神社

は数山」数山壁音線像水滑部では地方事勢所と合同地能にて来る二十二日登浦一齊に駆行される戸外デー監日午前十時より北五條町集テー監日午前十時より北五條町集テー監日午前十時より北五條町集を合配宅裏體育協會水滑場に於て全地で裏體育協會水滑場に於て全地で表體育協會水滑場に於て全地で表

準備が終るので電板 準備が終るので電板

【安集】安東輸入組合の主催で日本ではかっていて高原議で大曹田して清州威融人と で感じ十九日より二十三日まで城 内において高原議を大曹田した賃 内において高原議を大曹田した賃

多い譯は

■情な缺ぎ係して産業細郷の要扱 団に限られ資金の運動、敵取引の

【藤曜】米四山旅順市投職務営学 し特に注意されたいと | 考究中であるが一般市民において

鐵道爆破の

關係者

同調查

慎重に行はれた犯行

※紫生は男子第一師範三十二

貨補光に割當てられる等であるは番糠教育局及省立各小學校の

本溪縣の匪賊

屠殺場を擴張~

油肝のこ・ケーマのこ

兵六十八名

『養養』先月來當地城内で募集中であつた察天端安游繁隊の初年兵であつた察天端安游繁隊の初年兵でお十八名を得たのは十三日までに六十八名を得たの

ふ施設

公衆衛生を徹

うと躁想されてゐる

れるでありませう。可き効果を首肯せら明によつてその驚く 女給 数名入用 ・ 東剛カフエーリリー ・ 東剛カフエーリリー ・ 東門カフエーリリー ・ 電三四一六番 ・ 電三四一六番 ・ 電三四一六番 ・ 電三四一六番 ・ 電三四一六番

一般に 一般に 一般では、 一般な 会質機飲食活腸所中央公 をでは、可格な 会調電力、 一四八 では、可格な 会調電力、 の一の のでは、 李 イ ピスト英文判文部文規期 を 初心者数別東で三段 を 初心者数別東で三段 を 初心者数別東で三段 を 対し、 一段 を 対し、 一般 を 対し、 一能 無人の鶯至念課度 姓名 関附近目下盛業中な

信濃町道浸速町電車停留時解ハリ灸門療院

猪

異点質一丁目三四三 選集 三浦 芳 子 選集 三浦 芳 子 温多忙 會員 至 急募集

政護婦婦派遣

家政婦

發寶元 佐々木洋行

不用 品高價質品

川崎商店電七九五六番

| 「店員 二十歳前後住込要保証人 意養 郷消費組合指定和服業総 部佐渡町三二美津薫電八三七七 部佐渡町三二美津薫電八三七七 部佐渡町三二美津薫電八三七七 本人面談 本人面談 本人面談

中面談 臥龍拳九九 森川 中面談 臥龍拳九九 森川 一大三成迄木曜日午前 2人ス用、十八歳位より

呼吸器障害に

大連市磐城町五八南澤堂研磨所別・大連市磐城町五八南澤堂研磨所 大連市磐城町五八南澤堂研磨所 大連市磐城町五八南澤堂研磨所 大連市磐城町五八南澤堂研磨所 大連市磐城町五八南澤堂研磨所 **聚**上福原正義先生創製

婆兒雨町1○ 田地野千代

産・小林左知

古本 の御用は 情条 職びろびもの新聞月三銭 大連市西通三五番地大連案内社 大連市西通三五番地大連案内社 大連市西通三五番地大連案内社 大連市西通三五番地大連案内社 大連市西通三五番地大連案内社 大連市の経済を設置する機 大連市の機関が直面である。 大連市の経済を表すり四千 大連市の経済を表すり関える。 大連市の経済を表すり、 大連を表すり、 大連市の経済を表すり、 大連市のと、 大神のと、 大神のと

金融工作品

林病 濟生醫院

大連市三河町二

「項發動虞れあり

下 空車の海轍に脅威を駆じた國所は 常部に各會代表を召集し記念通擧 ファメリカより飛行機及び教官を輸 行、二十四日首都各新聞紙は航空 と戦威武・震撃の航空熱を煽り、同時 附金募集隊が2に織く答、また期は徹で民衆の航空熱を煽り、同時 附金募集隊が2に織く答、また期に空車充実、資振金票集に響手す 間は各市民の世間といるが、本 特別號接地二十五、二十六、二十 後に空車充実、資振金票集に響手す 間は各市民の世間といるが、本 特別號を刊二十五、二十六、二十 後に空車充実、資振金票集に響き で言傳像は樂隊を先頭に最後に寄った。 こと、なつだ、即ち二十三日市 義指金募集に響る答

要一周年部窓目までの一週間を輸行 大し空電光響に努めてゐるが、来 る二十三日より二十八日の上海事 本当三日より二十八日の上海事 本語の海轍に脅威を感じた域所は ない。 を取り、 をのし。 をのし。 をのし。 をのし。 をのし。 をのし。

の空想で同じ、保筆問題の存する國ごとも、この種條約な締結に戦争を防止する要がある皆力説し、尚で保事問題のない。政府とならば不侵略條約を締結に戦争を防止する要がある皆力説し、高委員設置の件等に関し解決を考慮する皆回答した、カリて「リーリーリーフガロッカリョー

場合た、次いで一月十四日トロヤノフスキー に関の懸案たる**國境問題、即ち之が** されやう 政府公表

滿鐵增資案と

拓務省側の意向

首腦部會で最高方針を協議

【東京十七日**委】**曹族院公正會で と振騰しこれ等の伴は幹事に一任 年記念事業 提議 貴族院公正會

紀元二千六百

昭和十五年は我紀元二千六百年 昭和十五年は我紀元二千六百年 に嘗るので奉献のため政府に記 念事業を担ずやう建議したい、 その事業は五千萬圏位の像算を こつて萬國博慶舎を開催する如 きもその一案である 總會を開き對議會策を議した

日本への勸誘結局承認 ウエー 經過

日本對聯盟の衝突懸念

見割立せる事情より見ても國筋の不満爆發に前途案ぜ

米國の日支問題態度

作四項に進む度れあり、若し大修正な加へ風容さば日本紫磯監の蘇爽が懸されて、日日本よりの風訓録者により大祭其機化すべきも、且下の模様では 英佛の意見

在歐洲使臣に訓電を發す

張總長自ら精鋭を率

內治外交諸件

皆話して置いた

會見後齋藤首相の談

熱河の學良軍を

満洲國軍政部異常に緊張す

『東京十六日後』若概、鈴木麻總 は承知さも不承知さも云はず只 を表現を含見後養食首相は語る。 はこて貰つてゐる兩黨總裁に一 度長拶なして置く必要があつた と、め今日訪問した、聯盟、山海 と、との今日訪問した、聯盟、山海 は下記の他政局の將來に はなかつた其の他政局の將來に なこさはあるまい なこさはあるまい なこさはあるまい。

でては聴撃以の現今 医湯玉崎、医聴撃良の熱は物然と をないものであると 秋の思いで待つてるる 大いものであると 秋の思いで待つてるる 大の思いで待つてるる

金が木 地式 語る るだけお話して置いたから議會るだけお話して置いたから議會るだけお話して置いたから議會を必要は超るまいがある。

【東京十六日愛】 若槻線裁は首和

専門解なる

薬オインを

得たので

敵匪兵力

日蒙』首相の來訪を受

けた鈴木総裁語る 首相より突然骨見申込みがあったので四十分餘種・直ったが要するにたので四十分餘種・直して貰いたた番情問題に亘ったが要するにたる種情題に亘ったが要するに

リ卿報告を基礎に

第三軍長に

開魯附近に集結の

2. (本) 「新京電話」現在監督を中心とする三十支里以内に集結してゐる製造下の反演抗目軍は、彼等のいかところによると熱河軍策九般の三千、郷田萬と称してたり、電兵隊は開新四萬と称してたり、電兵隊は開新で、これら電兵隊の一萬五千、解城配のでは海戦電二十九四、山延四門、機関統四級で根高の有する砲域くである

負債整理法に

匪軍の實力と作戦

學良、飛機武器供給か

基礎とする行動をこるを希望 サエルト氏代理として ガエルト氏代理として

一述べたこと本日外明した、又ローれたとす」

争ひ警戒

り議事の成り行きを注意しつ

電 選成に對する努力經費中なりとの を対片づけ萬事を日本の回調理者 後に誤らんとの方針で會議に赴い たものである

支密約否定

作る しかしてこれらを東は縦

招請問題

米の異常な關心

へを超ゆ

堂々たる我代表

蔣に電詩

聯盟會議の終局は?

「日本金が騰らないかなも これが我々の集まると確 である、内容の光度した偿

の一個旅八四個旅八四個旅八四個旅八四回一年、一日本一年、劉

かさ、満洲事件養生以來内外時 別重大化のため陸海軍鎌第の日 たによる鎌第編成の經緯を述 一、私大郎よる鎌第編成の經緯を述

体會明け劈頭における 首相施政演說骨子

いれば十三萬 動方面の正規 が記されば十三萬

十九日臨時閣議で正式決定 滅相の難色 首相鐵相斡旋に努力

番に御用意あれ オインは効児の体質に適應したという。 という はつ服み易く、迅速に効力をはつ服み易く、迅速に効力を 主







満洲體育に

理想を與へよ

雅となきま、に、之を外属に求め は離骨滅と称すべきほどのものは はを対域と称すべきほどのものは

がであった事質は、好賞に 見ているよりのであるものである。 要な物語つてゐるものである。 とてこゝに最も注意を要す

寛織はあげ得られないであらう。 撃緩縄脈をなすにあらざれば、其

特別地區の測量

新京市政公署で着手

は 目的に流洲の資源の調査、産業の 期は三、四月頃であると ・ 院き流洲の治安もほど安応したの 派遣職員は各方館の要者、按腕を を設としこれに配するに新職職者 を設としこれに配するに新職職者 を設としこれに配するに新職職者 を対としてもた、その に質地監査を試みる客で、ての時 の で我陸軍電房においては昨春來聞 を設としこれに配するに新職職者 を対としてもた、その に質地監査を試みる客で、ての時 の で我陸軍電房においては昨春來聞 を対としてもた、その に質地監査を試みる客で、ての時 の で表達で表することになった。その に質地監査を試みる客で、ての時 の で表達で表することになった。その に質地監査を試みる客で、ての時 の で表達で表することになった。その に質地監査を試みる客で、ての時 の で表述としてもないに、 の で表述を表する。 の で表述を表す。 の であると の

内蒙古にも

自治制施行方針

國防軍を編成して

經調會第一部の

答である

復興交涉

▲星野龍雄氏(滿鰕商工隊長)同

本天鉄西の閉鎖工具

奉天製糖會社

豫備プラン

一月中に完成の豫定

日満間を繋ぐ

『聲』の連絡

のあり財政部では私票の認適を脱れ票を養行し運用せしめてゐるも

私票發行嚴罰

試驗通話は好成

せしめた
せしめた
せしめた

爲替變らず

當市保合

わが陸軍、滿洲國

大調查團派遣

今年三四月頃を期し

東間野で開館中止となってゐたが るのは結局三月一杯かゝること、 中村、竹中、宮竹、村上五委員出 中村、竹中、宮竹、村上五委員出 中村、竹中、宮竹、村上五委員出 市長推敷版を五委員連名にて製送 市長推敷版を五委員連名にて製送 市長推敷版を五委員連名にて製送 された販都整設部都要編案内容は 大子目に発し営地中称に對しては中 大名書誌にて推議する理由と経 大名書誌にて推議する理由と経 「本名書誌にて推議する理由と経 「本名書誌にて推議する理由と経 「本名書誌にて推議する理由と経 「本名書誌にて推議する理由と経 「本名書誌にて推議する理由と経 「本名書誌にて推議する理由と経 「本名書誌にて推議する理由と経 「本の近くである 「本の近くである 「本の近くである 「本の近くである」

新專賣公署長

姜恩之氏任命

審議員を発す 總領事業大使館一等 總領事業大使館一等 書記官正五位動四等

属都建設の計畫隔域は約二十平左の如くである

見本市展示協議

奉天實業廳に開

旅順市長詮衡委員會

大豆强

社

說

洲國否認の交句を撤退せらめた要求を容れた點、理由著中の滿

れご第二決議案において日本の

正斯株式會院の番號を探して見 を試みに一僚なおげると、南藤洲 るからです。 市長二候補へ 推薦狀發送

内以行十五 すらさは傷中

◆電話電局に書號灣の加入者名登。 展られるかなお読ねしたい、我 居られるかなお読ねしたい、我

弘報處設置法

內地强保合 當市强含み 市 况代刊

の公式の

業實

而から複雑なる現代の管理に實力の世界であ

の事業は必要不可以を選挙に於て其の密薬界に於て其

東京高等商業學會

新町五丁目五番地東京市赤坂區

は界業實

機関でなければならな

大豆(操物五一六〇 五一八〇 出來高 八十車

大会報 一九九三〇 一九九三〇 一九九三〇 一九九三〇 一九九三〇 一九九三〇 一九九三〇

原であって、高商

歌萬の正

綿糸保合

我水泳選手を

大連市役所が準備中

相抱機し難つた者

御講書始め、二十一日御歌

ンス客に對し

劉景文残黨を

野営地に監禁

名でこれ等は學生を主とした學生一港遭遇丸で來滿した中國大學在學學生約七百名並に馮廉大學の三百一目その身遷を繋成中だが十七日入

る事となった

言備力を擴充し

事性な機として抗日の ると噂されてゐる様であるが、その他にいづれも今 部は既に熱河方面に入り込んで

うち二枝は米臓系と 心と恐ろしい意象込みで、その公私合せて十五の大 義勇軍を組織し進入で職職に常

抗日運動から續々脱退

部隊は最初三百十五名と報告ある。鑑山方面から遊入した李

線路を嚴戒

守備隊司令部が命令

ムスクの野営地に

てるた老来

が防近一帯の興城は既に繋を渡し一時されついある徹底館に縁郷し大幅線に勝運した一機能の興城はこと未被一帯に艦居せる郷散文機震を一治安維持に低い

一般部の興戦はこれによって逐次振

軍閥に操られた

學生義勇軍悟る

新入營兵

けふうらる丸

歸國者には旅費支給

口滿國旗を掲げ

老來好歸

背後

人物逮捕

大山田の上京に旅野を組し一切の 指揮をなしてゐた事別明した、尚 指揮をなしてゐた事別明した、尚

は戦慄すべきものがある

九條公容態

更に改良されたる

0

遺難機搭乗者の

生命は絶望 耐寒飛行の橋本機

飛行中平北道 方事務所の

敷地も物色中 設立認可申

実現だいと思

題もあるので職盟ではその

銀行に兌換を申出るが

てゐるため國閉づるさいへば處別されるさ冗談を言つたのを開まれるさ冗談を言つたのを開まる。関き手が誇大に宣傳したる

安

が でかりのとごりの かった におりでも いふので、カいふので、カ

ホワイト ウヰ スキー ホー

比無良純 の明大小紙の

各 五

水角白ヶ店

テーブルは 遼東飯 出前も致 當日

で御勘定を頂きます御料理代は御支拂の時金票も 穴遼東ホテ

玉上すロ三バ氷角白ウ等 シギン ヤボン 砂砂砂 ニ

電見で前合同紡織成長秋山魔太氏 に常時の支那公使佐分利重男氏の た常時の支那公使佐分利重男氏の た常時の支那公使佐分利重男氏の 佐分利公使は他殺 流血が除りに多量でま 常な注目を呼ぶに至ったのだ。 笑に付して居る

英國でも貧民激増

顧者は自二十二萬五千百三人であり末現在に於ける貧民救験手職受 る、右の数字は人口一萬人につ

の像大さい

說明治

澤

現れの模様で

の被害無しと見らる

その系統全く判明 1 A 中訓工場 の 神訓工場

『東京十六日餐』九條通賞公の正年の容牒は鑑潔三十六、腰搏百二十四で飯る電機である

日野遊科駿西院 河南 水田洋汗廠 凱旋部隊 關門通過字品

である、集谷は旅館に使り機墨せるものかたは 名馬を 陸軍省へ寄贈

【仙墨十六日餐】郷く凱遊をした 多門粉草は事要記念として響て在 た名馬を陸草省に酔贈する事とな た名馬を陸草省に酔贈する事とな た名馬を陸草省に酔贈する事とな た名馬を陸草名にかり送られ

一下、

H

時 一月十八日午前九時より

項 投文 文話論 稿數 よめ記物語事 名作

- 噂話、ゴシツゴ語、スツバ抜き

市井雜事、逸話、移話、スツバ芬さかフェー、花柳風間、巉話、ゴシッア等を希望等を希望、東等を希望、東等を希望、東等を希望、東等を表望、大連市業所、送話、移話、スツバ芬さ 滿蒙評論社編輯局

原稿募集 評 論 每月二十日締切

刊月 滿

原稿科を提供す

それは 重 ら ら へ 三大 13

毛糸はて

F

頭腦 級 高 映 16ミリ用 及び 9.5ミリ用 管理の平衡資金! 空氣冷却式ランブハウス 特殊構造フイルム移送 装置 一齣移送裝置 三菱製或汗芝浦製 特製モーター 高級電壓計 **改良型角夢** (一切の職氣的調幹部分は此の角臺の兩側に は良型建力調節器

一動停止映窓用レバー (一動停止には特殊金量で訪問ス カリーを開設し約十分開発別して 体に映画するもフイルムに異似を 来さす) ヴオルトメーター用 パイロツトライト 途風用弧力風風機 アホリ用ノツブ スクリウ式微細調節方式 室内電燈用アウトレツト 携備用砲、リール、接合機 一式附属 F型 230 圓

詳細なる印刷物あり御申次第進品 トキワ橋西通リ九三

関は全滅の形態となった、大阪、 七日朝にかけて中歐九州一帯を襲 ふた大風雪のため西日本の適信機

二遞信局で應急修理

機 編湊し多少の運延は発れれい状態で に努めつゝある、何適信は非常に の場合は、一般などのでは、一般などでは、 のでは、 のでは、

機關全滅す

六日發』小倉石油會社火 デマ 出所はこれ

立話から取 國幣」は「國閉 に通じるなごと

千袋、靴下、

場所 敷島町元歌舞伎座跡

脇

莊

次

用願ひます萬端の準備を調へて居ります結婚御披露其他の御宴會には是非御利

御宴會

高骨蓋 展觀 正札賣立會

語呂合せ

を護み、満洲域に難して不安を生 に兵職な際始すべし等の診療部事 に兵職な際始すべし等の診療部事

したから勝つたのだ」と如何にも 椅 高砂ヤア

5とのこと、一日平地一組はあったが元度以来既に十五六組もあったが元度以来既に十五六組もあったが元度以来既に十五六組もあったが元度以来のでは、一日平地一組はあった。 るわけであるが、不思議と十 組もない。

當日は光質けで触り好い日では何故十七日が悪いのであらう。 安防産 全事で見 日九

心臓病離浄腫れ等の本病に

ラッキースキン

満洲映画社 小型活動の現像、仕上 普通寫真部特設映 寫機 販 賣

又」から出てゐるといふから騰 ると、その理由が何と「全色夜 ると、その理由が何と「全色夜

| 久方町五番地

珍

ジンバーケーキ (1) ウンドケー 日本各地名産 宅 0 - キ 日本心 二、九〇 - キ 日 本 一、五〇 - 九〇 洋菓子 本人一、五〇 シュー スキー クリー ホテート

責任速効秘藥行物的職

別府淋藥

酒渍

8

酒

0 00

さのふ日本橋にて

あ

は

夜

鐵嶺守備隊に

腦脊髓膜炎

二名中一名真性ご確定

完全は窓を十八日午後七時より会に満か進めてるた線網時局間短呼

物資の大輸送 黒河駐在の周作霖氏談

> 動式に改良 舊式電話を自

新京警備軍

安東旅行俱樂部

オンドルで蒲團が焦げ

近公愈々發會式舉行

込み懸念手管なしたが老裏せ なるため附近館農は路頭に迷つて 歌中を教見し直に満蟻醫院に たなし鱗農の女規準衝等を強奪中ルに就験中布側が集げて共憲 し日本軍の走狗なりとて掠ぶ暴行 総所持の肺臓側が横行し鱗農に踏まりて老後を楽しましめんと 【奉天】濱瀬剌南山城附近には是

| 大学ないがその特別は | 中でいよく (近く正式に教育會員の | 一上) | 上一次 | 本書 | 大学ないがその特別は | 一大会 |

る

社會式株藥製本日大P

(可認物使發展三條)

盛大なる慶祝大會

昨年より四割増

大量注文で製材に忙殺

数千民衆歡喜の行進

は、 ・ は、 、 、 は、 、 は

吉林の寒稽古

【チチハル】皇軍の人城以來急議 これと同じく常地憲武隊にて、なる養成が見たチチハルは共進歩 朝六時より全員打論の元献よりを表打論の元献よりと共に改善を共に改善と共に改善を持た。 墮落防止のため 藝妓に試験

新京警察署の試

米壽の祝を前に

宿泊經費徵收

當分商務會で負擔

上村部長の名

深をで居来を香製開展い い脚状であるに経過度器 をないたけした 度を変けした。 度に 特許

科

小学校前

X 線 完 備

腎肺尖・

血壓及婦人內科

あとにレ

トフ

は現代人の常識です。

本品の

ょ

n

はお 奈子 英雄

子に

シザリ

M-123

醫学博士

滥谷創榮

電話六五六五 番

銀〇五 入錠〇五 鏡五二入錠〇二 信 鏡〇五円三入錠〇五 鏡五二入錠〇二 信

元章要

百般 如 石界G関祖 **大理厅** 写場

六七七四話電

店支連大利辻

入院隨時

肺門淋巴腺炎及费高不良 呼吸器及消化器慢性病 一瓶 を防

料容整白乳 リソゲヒ

痛効果を收む。 煩なく而も遙かに優し (多数の類似品あり御注意を乞ふ) 二五〇瓦(九 社會式株

社會名合巴二

五〇〇瓦(四十五錢)

錢

二〇〇〇五(四圓五十錢)

(町修道區東市阪大)

妹の通學整容料に がのお化粧下地に はのかりが化粧に

尾 賛 平 商 店

*

0 守

平京

處胃、

炎

肋膜炎、

ロイマチス、

木材界活況

傷病兵通過 名入院

カルタ同好者

安全に排虫

ーデンニクマは日本

二司传递巨大 商吉 片 友澤 藤 社会大學

幸校

めたの日るなとママ

の花印のことです。

つてゐる間にお肌は美しく養はれますナイトクリームといふのも、こ

少しある、繋がつまる、水渓が出 であります。職も養田となり、心が出る。そして零る駅は平然にな 職を解にして寒間圏の指属を受けが出る。そして零る駅は平然にな 職を解にして寒間圏の指属を受けるので安心すると、夕方急に熱が ねばなりません。

た機にカゼがもとですから、咳が断した危険な肺炎も、前に申上げ

カゼの豫防法

家庭の常備薬

寒さは乳幼兒の大敵

油斷すると命取りの肺炎

だが斯した注意をすれば安心

(六)

◇只◇

す墓となる事が多いものですから、油質がなり心ですが、殊に乳幼兒の場合は、一刻一種の進 ◇寒◇ さもいよく 本格ので、冬に多い種よの病気、殊さればない。 おろそ

に入れの事は勿論、咽喉に悪布さたといふ時に油頭なく手掌をすべたといふ時に油頭なく手掌をすべたといる時に油頭なく手掌をすべたといる時に油頭なく手掌を引きれている。

選集 文社本店

名大文一八冊組七尺の金部注文者に限り大投資を保作一八冊組七尺の全部注文者に限り大投資 夏漱厄傑作選集 町桂月傑作選集 富懂花傑作選集
歸藤村傑作選集

もつと

美しくなる

道は!いと近し

氣人く輝の春新 氣人のナテウ

百日 日

朝のウテナ雪印クリーム 夜のウテナ花印クリーム 地肌から白く美しくなる 分を爽快にする評判の日常美肌料が雪印です。 要なもの、夜おやすみのとき、お顔から唇。お手などにつけると、眠 ウテナ雪印クリームは、無脂肪のサラツと快い純白雪のやうに清純な クリームは、脂肪性のアレ止メ、地肌の築養料として、美肌保護に必 クリームです。ヒゲ剃りあと、素顔の美白、濃化粧用として、朝の気 ウテナ花印



育兒の百科辭典を兼ねた

部

上買お上以圓一丸命教津宇

★斯した不注意をせぬ様★

はやります

上品なダーク軽快なライト 温かな純情の色ウテナのオレンヂ

強いて引立たね心をかき立て

·燈火用

「さあ、何とか返事をしてくれ。 おれはけつしてお前のために、悪 までも、この世の何ものよりも憎くなた。おなじ夜のうちに、二度 よくよくの運命である。最 一人で京に帰るのよ。お前の事は んだ。お前がウムと塚知すりやあ

マならは――と、悪魔の心になつ、いつて、蝿かつけて、上方まで引いっているに、なほさら出いない。こ の奉行所に別漢すのも残念だっと助けることは勿論出来ない。土地 文音は考へ込んだ。

が、これでもあれしはよらある人 の観なのき。悪い事はしたけれど 心臓の道はよくわきまへてゐるの がよ、さツ殺しておくれ。お前も が、これでもあれしはよらある人 が、これでもあれしばよしある人。が、お氣の帯に、もう二三年といっなのだよ。返り忠が脚道はひとつなのだよ。返り忠が脚

昭和女子楽學事門學校

日本自動

新から短到安全 芸師 金九十 職所 優秀! 月頭 金月十 職師 一川 金 八 十 職 一川 金 八 十 職 月經帯

級高リ

い盛況

益々

れる

(可語物便郵覆三角)

酸

怪支那人(九)

信頼服用日に加はる 薬効の優秀既に承認 ①は無性の厄介なグリグリ②連球状の減菌なグリグリ 東京之光商行

和指定品

の確實に御取扱申候

岩里天然堂大樂房

御客樣士

本位の店

ービスの徹底

田中

著音器店

娯楽と気

織6泉

電話 四二三四七季五〇〇二世

大連商業銀行

連市西通(排込濟)

粉寶當微笑堂藥房

1010 P

マタ賣切ね内に御早く最も安い田中レ 大量新入荷致しました 部で何んでも揃ひます

ドル

产才物申込御取次数ます

ビクターコロムビア、ポリド ル、ジュニアーレコード の勢揃ひ

一産の権威

會

れた信用と関

員

ジャク

y

奉天平安道

ターパンンでル

*Max優秀ラデオ

スーパーピータ

淋巴腺結核

四十

器だ

何か

ら何まで申分のな

圓の値打は十分にある ごんなに見積つても三、 い蓄音 家庭の園 オカ 嶷

癰、頭痛、齒痛、火煙横痃、睾丸炎、丹毒、

不明の炎症又は熱等

白米變動相場は 連鎖街の鴫米大島屋へ 第11100番

氣管支加答兒、

腎臟炎、浮腫、腹水、 肺炎、肋膜炎(濕性乾性)、

リユウマチス、

關節炎、

◎堅牢なる新精鋭器

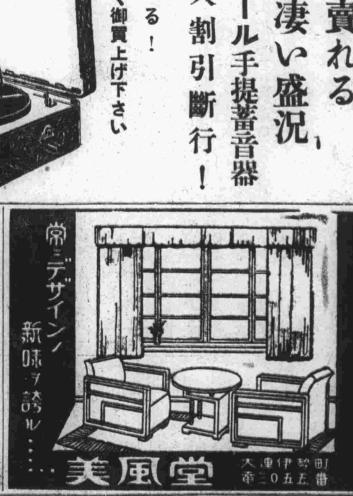
⑥絕對的廉價

◎明朗◆

の快調

◎高雅にして輕快なる體數





迫る!

へ御買上げ下さい

大割引斷行

家具室内裝飾

五〇元 三〇 三〇〇元 三〇 三〇〇元 二、二〇 三〇〇元 二、八〇 二 近 二、八〇 仕 般一は積量の瓦○五剰本 す賞相に程瓦百の剰和値

賣

日元

式

ħt

造養賣元 新巻東京セニセスの 東京市日本権區大体系籍町七東京市日本権區大体系籍町七 東京市日本権區大体系籍町七東京市日本権區大体系籍町七

淋巴腺炎 肋膜炎 見よ一此の驚くべき効果を! 五日の連用により全く全治す日 製造がで驚異的特別楽として推奨す 本 見 喜 八 耶 寄 再設がで驚異的特別楽として推奨す 時間位にして全く解熱し治療に向わしめたり時間位にして全く解熱し治療に向わしめたり、熱高く殖臭の恐れありたるにホリミンを横断よ然高くが臭の恐れありたるにホリミンを横断よ 異る駆落の効力を有する薬劑なる事な認めた異な駆落の効力を有する薬劑なる事な認めた

頭痛、齒痛、火傷、凍傷、原因、寒丸炎、丹毒、濕疹、癤、疔、 耳下腺炎、扁桃 腺炎、乳房炎、 腰痛、

淋巴腺炎、

齊川

腹膜炎、 腸炎、 神經痛、 骨膜炎、 事實體多を有す革命的薬剤なら

り消失する奇績的特効を有すを誇りとす。腹膜炎腎臓炎の浮腫腹水等數回の貼布に依本劑は鎮痛解熱の作用を營む外濕性肋膜炎 浮腫、滲出液の消失作用

醫學博士堀迈憲治氏創見

鈴木憲二 御推奏

革命的治藥劑として 外各諸大家舉つて御推獎 御推獎 御推奏 御推獎

瀑布町の追從を許さぬ ホリミンの特徴 各専門家に賞用さる

畐源開發を待つ

またり望み薄か 政府の財源涸渇が ·二百八十萬圖、九月 一月中四千萬圖、十 一月中四千萬圖、十 議を延期 原因 施って月初朝日職 東無近の惨然がかう して大いた 定期喻合高(最大日) 定期喻合高(最大日) 於日對比較 於日對比較 於日對比較 於日對比較 於日對比較 於日期(以內百箱 四本 一〇六百年四〇百箱 一〇六百年四〇百箱 一〇六〇百名十七日) 一〇七、〇〇〇枚 三三軒 九九八二 | 関位十段

出來高 七車 出來高 七車 出來高 一車

東地市深 東東 100~00~00 100~00 100~00 100~00 100~00 100~00 100~00 100~00 100~00 100~00 100~00 100~00 100

時質現するか知れない形勢だ 時質現するか知れない形勢だ がようとしてゐる際適切だと是 記した其の後で東西銀行家が居變 記した其の後で東西銀行家が居變

東京十七日教 金融業者にて組織してゐる五日會では昨十六日午後大時金水にて例會を開き土方總。 はインフレーションの外部が漸く 起きようとしてゐる際適切だと是

内地株强調

八〇〇兩五 七九七兩三

上海 高 共 性円 和 『上海十七日登』標金は物品筋の 質にて材料に逆行高、あさ小中保 合、非は引獲きアメリカ系銀行に で戻り、個は大連筋の見送りこ外 に仕手なきため至極関散

が 七七九、輸出一一七五一八、輸入 出三三二六の遊戲である

五日會例會 金利問題等協議



十七日より十七日より

麻袋小聢り

品

綿糸弱保台

中央館

市川右太衞門の中村吉藏氏原作 與太者と縁談 三井秀夫。若水照子。。演

笑ひの速射砲

林 四十七圓十段 株(昻騰) 口



電話セセセ六番 醫學博士 尾形一郎

中五日より大・連劇場 御優待・等割引券 御優待・等割引券 職務があた。三割引 の が選ぎ五味國男

下骨骨の大きない。 オン出演

ŔŔ 常 腦

記狀行むだまんだも の子吟峰 道士武るたえ飢 の郎太國村澤

公主嶺査定會議で決定

上海貿易額

記錄的激減

小さい

◆…しかもその解散に當つて指金を手襲つて居るが を手襲つて居るが を手襲つて居るが を手襲つて居るが は、その解散に當つて指金

職談

るとは、先つ満洲では未曾有の ことでおり、配内地と難も斯標 な銀行の解説ぶりは聞いたこと がない がない

銀總會

東京期米 東京期米

等替相場 全留比(分) 時筋直積 三留比(分) 一時筋直積 三留比(分)

□ げさ大豆は奥地筋及 ・ 対応の異進みで強調 ・ 対応の異進みで強調 ・ 対応の異進みで強調 ・ がら大豆高に伴れて脱 ・ がら大豆高に伴れて脱 ・ がら大豆高に伴れて脱 ・ がら大豆高に伴れて脱 ・ がら大豆高に伴れて脱 ・ がったる。

限限 海場等前

◆定期前場《單位後》 等待高值安值大引 期近 1065 1065 北美北島 出來高期近三百二十八萬國 ◆現物前場《單位後》 銀對金 銀對洋 金對洋 九 時 1000 11243 11243 十一時 | 1125 | 1245 十一時 | 1125 | 1245 十一時 | 1125 | 1245 十二時 | 1125 | 1245 十二郎 | 1125 | 1245 十二郎 | 1125 | 1245 十二郎 | 1245 十二郎

三日公

福牌軍手鄭 電語四五七番

昭和新撰組^整篇 本日封切

れ勿す逃見を書名のこむは言を何更今



甋

階下··六十錢 空

目醒めよ感激

じやじや馬馴らし 像の 灯

十三日より封切・・

市 山信濃 本市場

大連劇場

六日より廿二日迄